

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	1 教育委員会費
事務事業名	教育委員会運営事務				
決算額(円)	財源内訳(円)				
2,707,100	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					2,707,100
事業目的	教育委員会の運営を適正、円滑に行う。				
事業内容及び成果	<p>教育委員会議を定期的に、または必要に応じて開催するとともに、学校視察などを実施し、学校教育をはじめとした教育行政を推進するため、適切に教育委員会の運営を行った。</p> <p>(1) 定例教育委員会開催回数 12回</p> <p>(2) 学校視察等の延回数 23回</p>				

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	地方自治法 地方教育行政の組織及び運営に関する法律ほか		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第16条の規定に基づく芦別市教育委員会会議規則により、定期的又は必要に応じて開催している。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定	
今後も教育委員会会議・学校視察等を実施し、教育行政の推進を図っていく。		継続	

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費
事務事業名	教育委員会事務局運営事務				
決算額(円)	財源内訳(円)				
190,500	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					190,500
事業目的	教育委員会事務局の事務の効率化を図り、円滑な運営を目指す。				
事業内容及び成果	教育委員会事務局の運営に関する事務を適切に行った。				

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律			
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	教育委員会事務局の円滑な運営を図るため必要である。		
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—		
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
<今後の方向性>	今後も他市町教育委員会と連携しながら、円滑な運営に努めていく。			総合判定
				継続

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費																
事務事業名	地域とともにある学校づくり推進事業																				
決算額(円)	財源内訳(円)																				
426,716	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																
					426,716																
事業目的	<p>令和元年5月に芦中校区(芦小・芦中)及び啓中校区(上小・啓中)に、それぞれコミュニティスクール(学校運営協議会)を設置した。これにより、学校が家庭や地域と連携・協力しながら特色のある教育活動を展開するとともに、学校評価の実施により学校の教育目標達成に向けて、組織的・継続的な改善及び学校教育の質の向上を図りながら、地域や社会に開かれた学校づくりを推進することが目的である。</p>																				
事業内容及び成果	<p>1 芦別市合同学校運営協議会を年2回開催、中学校区学校運営協議会連絡調整会議を年4回開催。芦別中学校区では、「家庭学習強調週間」(ファミリー・スタディーウィーク)を2回実施。</p> <p>2 学校が求める支援内容に対して、ボランティアを募集・登録(無償)し、学校の教育活動・学校行事等に対する支援を行った。</p> <p>学校支援ボランティア活動状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>団体の名称</th> <th>登録人数</th> <th>ボランティアの内容</th> <th>活動実施校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芦別スキー連盟</td> <td>8人</td> <td>スキーの指導</td> <td>芦別小学校 上芦別小学校</td> </tr> <tr> <td>芦別柔道連盟</td> <td></td> <td>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校支援ボランティアの支援を得ず、各校教諭により指導を行った。</td> <td>芦別中学校 啓成中学校</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>8人</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					団体の名称	登録人数	ボランティアの内容	活動実施校	芦別スキー連盟	8人	スキーの指導	芦別小学校 上芦別小学校	芦別柔道連盟		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校支援ボランティアの支援を得ず、各校教諭により指導を行った。	芦別中学校 啓成中学校	合計	8人		
団体の名称	登録人数	ボランティアの内容	活動実施校																		
芦別スキー連盟	8人	スキーの指導	芦別小学校 上芦別小学校																		
芦別柔道連盟		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校支援ボランティアの支援を得ず、各校教諭により指導を行った。	芦別中学校 啓成中学校																		
合計	8人																				

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律		
1. 必要性 (市が実施しなければならぬ理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	学校運営及び運営に対する支援を行うため必要である。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定	
<p>家庭や地域に対して、学校支援の活動状況・役割について理解を深め、連携・協力の輪が広がるよう、日頃から情報発信・情報提供し地域社会に開かれた学校づくりを推進する。</p> <p>各学校においては、学校運営協議会の部会である学校関係者評価部会における評価の内容を学校経営や教育活動の改善に役立てる。また、各委員が学校支援者の一人として学校運営の様々な場面に参加し助言するなど活動を継続することにより、地域とともにある学校づくりを推進する。</p>		<p>継 続</p>	

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	3 教育指導費
事務事業名	就学指導事業				
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)				
48,180	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					48,180
事業目的	児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育的支援を適切に行うことができることを目的とする。				
事業内容及び成果	芦別市教育支援委員会の開催 (4回)				

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市教育支援委員会設置規則				
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	障がいのある児童生徒及び困り感を持った児童生徒の特性に合った就学先を協議し、適正な就学に関し、その指導を行うために必要である。			
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—			
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—			
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
<今後の方向性>					総合判定
教育支援委員会を適切に開催し、関係機関との連携を図りながら、児童生徒の教育ニーズに応じたよりきめ細かい就学指導を実施していく。					継 続

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	3 教育指導費
事務事業名	外国語教育推進事業				
決算額(円)	財源内訳(円)				
6,996,000	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					6,996,000
事業目的	<p>外国語(英語)を通じて、言語や文化についての理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、小学校においては、外国語(英語)の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養い、中学校においては、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養うことを目的とする。さらに、他国の生活や文化などを体験したり、調査するなどの学習活動を行うことにより国際理解や国際交流を推進し、その充実を図ることを目的とする。</p>				
事業内容及び成果	<p>英語指導助手(ALT)2人を小学校及び中学校に1人ずつ配置し、授業の協力者として学級(教科)担任を補助したほか、ALTと英語を話し合うことにより、基礎的なコミュニケーション能力の向上などの効果が生まれた。</p>				

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令					
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	い	小学校においては英語科教諭がないことや、中学校においては聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養うため、教師を補助する英語指導助手が必要である。		
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した			—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		—	
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		—	
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		—	
<今後の方向性>					総合判定
小学校の外国語活動の増加や外国語の教科化に対応し、さらに中学校の外国語指導の充実を図るため、引き続き、英語指導助手を派遣し、社会の国際化に対応していく。					継続

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	3 教育指導費
事務事業名	教職員研修・研究等推進事業				
決算額(円)	財源内訳(円)				
752,039	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					752,039
事業目的	教育の成果の多くは、教員の指導力によるものであることから、研修活動の充実を図り、相互に研鑽しあう環境を構築し、教員としての確かな指導力及び資質の向上に努めることを目的とする。				
事業内容及び成果	学校及び教育振興会等各種教育諸団体における研修体制と事業の実施を支援した。				

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律、教育公務員特例法、芦別市学校教育推進計画				
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	教育の成果の多くは、教員の指導力によるものであることから、研修活動の充実を図り、相互に研鑽しあう環境を構築し、教員としての確かな指導力及び資質の向上を図る機会を創出する必要がある。			
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—			
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—			
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
<今後の方向性>					総合判定
今後も北海道立教育研究所等の派遣講師を活用した、地元での長期休業期間中の研修会の実施のほか、ICTを活用したオンライン等による研修の受講など、多数の教職員が参加できる研修機会の創出に努めていく。					継続

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	3 教育指導費
事務事業名	いじめ・不登校対策事業				
決算額(円)	財源内訳(円)				
48,306	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					48,306
事業目的	<p>①教育委員会の組織として「適応指導教室」を設置し、学校に登校することができない児童生徒を受け入れ、専任指導員の指導のもとに個別活動、体験活動等を行うことによって、学習習慣とコミュニケーション能力を身につけ、対人関係の改善を図る。②学校における生徒指導、校内委員会などの問題行動に対応する組織体制の機能を充実させるための指導及び助言を行う。③関係機関（家庭児童相談員・児童相談所等）との連携を図り、問題行動の解決に当たる。④スクールカウンセラー（道教委事業）を活用し、教育相談体制を充実させ、問題行動の解決に当たる。</p>				
事業内容及び成果	<p>1 教育委員会の組織として、「適応指導教室」を設置し、学校に行くことができない児童生徒を受け入れ、適応指導教室専任指導員1人を配置し、その指導の下、個別活動、集団活動、体験活動等を行うことによって、学習習慣とコミュニケーション能力を身につけ、対人関係の改善を図った。</p> <p>2 学校における生徒指導校内委員会などの問題行動に対応する組織体制の機能を充実させるための指導、助言を行った。</p> <p>3 関係機関（家庭児童相談員・児童相談所等）との連携を図り、問題行動の解決に当たった。</p> <p>4 スクールカウンセラーを1人配置（道事業）し、教育相談体制を充実させ、問題行動の解決に当たった。</p> <p>5 芦別市いじめ問題対策連絡協議会の開催 委員11人（2名欠員中） 2回開催（9月・3月。うち3月は新型コロナウイルス感染症対策により書面開催とした。）</p> <p>6 各種事業の開催・参加</p> <p>(1) 児童生徒仲良しコミュニケーション活動奨励事業「管内別成果交流会」参加 令和3年2月12日（金）・Z o o m会議形式 芦別小 児童5人</p> <p>(2) 芦別市仲間づくり「子ども会議」開催 令和2年12月17日（木）・芦別市・児童生徒12人</p>				

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	いじめ防止対策推進法、芦別市いじめ問題対策連絡協議会等条例		
1. 必要性 (市が実施しなければならぬ理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	生徒指導の充実を図り、不登校及びいじめ等の心の問題を解決し、児童生徒が安心して学校での学習その他活動に取り組めるよう対応する必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定	
今後も不登校の発生予防と解消に向けた取組及び、いじめ根絶に向けた取組を推進していく。		継 続	

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	3 教育指導費											
事務事業名	文化・体育活動振興事業															
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)															
50,942	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源											
					50,942											
事業目的	児童生徒の健康増進と体力の向上及び芸術に対する造詣を深め、自主性・協調性・責任感・連帯感などを育成し、他校との親睦を図る。															
事業内容及び成果	<p>1 児童生徒の文化・体育振興行事開催を教育振興会に委託し、実施した。(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、絵画書道展のみ実施)</p> <p><児童生徒教育振興行事開催委託></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>参加校</th> <th>参加人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>絵画書道展</td> <td>4校</td> <td>282人</td> </tr> <tr> <td>音楽発表会</td> <td colspan="2" rowspan="3">新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</td> </tr> <tr> <td>鑑賞会</td> </tr> <tr> <td>新体力テスト記録会</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 児童等対外競技、中体連体育大会及び児童又は生徒の文化行事の参加について、必要な経費を補助した。</p>					区 分	参加校	参加人員	絵画書道展	4校	282人	音楽発表会	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		鑑賞会	新体力テスト記録会
区 分	参加校	参加人員														
絵画書道展	4校	282人														
音楽発表会	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止															
鑑賞会																
新体力テスト記録会																

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令			
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	体育競技・文化行事等に参加することにより、児童生徒の健康増進・体力向上及び文化・芸術に対する造詣を深めるとともに、他校との親睦を図るために必要である。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止により一部事業が中止となった。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	芦別市PTA連合会から、中学校の部活動に対する対外競技出場補助について、貸切バス料金の高騰を受けて保護者負担の軽減要望が出されている。	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定	
今後も教育振興会事業を実施していく。なお、児童生徒等対外競技出場補助金については、芦別市PTA連合会からの要望を踏まえ、他の補助金との均衡をみながら、補助率の見直しについて検討していく。		継 続	

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	3 教育指導費
事務事業名	特別支援教育推進事業				
決算額(円)	財源内訳(円)				
18,126,089	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					18,126,089
事業目的	LD、ADHD、高機能自閉症等の障がい及び学習面につまづきのある児童生徒に対して、その一人ひとりの教育的ニーズを把握し、当該児童生徒の持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するために、適切な教育を通じて必要な支援を行う。				
事業内容及び成果	<p>1 通常学級における困り感・つまづき感のある児童生徒の個々の特性に応じたきめ細やかな支援を行うために、小中学校4校に学習支援員をそれぞれ1人ずつ配置した。</p> <p>2 特別支援学級に在籍する児童生徒の学習や校内生活の補助的役割を担う、特別支援学級補助員を学級在籍児童生徒の人数に応じて各学校に配置した。</p> <p>3 特別支援学級に在籍している児童生徒については、保護者から同意を得て「個別的教育支援計画」と「個別の指導計画」を作成し、関係機関と連携を図りながら児童生徒への支援を行った。</p> <p>4 通常学級において特別な支援を要する児童生徒が増えていることに加え、保護者のニーズが高いことから、平成30年度より芦別小学校に通級指導教室を開設し、言語障害、学習障害など児童の障がいの特性に応じた個別の支援を行った。</p>				

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令			
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、適切な教育環境を整え、個々の特性に応じた支援を行っていく必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した		—
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		—
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>			総合判定
今後も学習支援員や特別支援学級補助員の配置を行うとともに、関係機関と連携を図りながら、児童生徒に対するきめ細かい支援や指導を行っていく。			継続

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	3 教育指導費
事務事業名	学力向上・教育課程管理事業				
決算額(円)	財源内訳(円)				
2,163,834	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					2,163,834
事業目的	<p>次代を担う子どもたちのために、創意に満ちた調和と統一のある教育課程を編成し、児童生徒に基礎的・基本的な学力の定着を図り、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等の確かな学力を身に付けさせる。</p>				
事業内容及び成果	<p>1 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全国学力・学習状況調査は中止となったものの、市内統一学力テスト(CRT)は実施した。</p> <p>2 基礎的・基本的な学力を身に付けるため、家庭学習の習慣化を進めることが必要なことから、家庭学習用ドリルワークを購入し児童生徒に配布した。</p> <p>3 小中学校4校にそれぞれに学習サポート教員を1人配置し、TT(チームティーチング)指導等による基礎基本の定着に必要なきめ細やかで質の高い学習環境の確保を図った。</p> <p>4 読む力・考える力などを付けるため、新聞を活用した授業・校内掲示などを実施した。</p>				
＜事務事業評価結果＞					
根拠・関係法令					
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通の <input type="checkbox"/> 低い	本市の児童生徒の学力状況について、徐々に成果が表れ、全国との学力の差が縮んできているが、さらに、学力の基礎基本を定着させ、学習習慣を身に付けさせるための様々な取組が必要である。			
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	各学校における授業改善の取組が進み、学習課題の設定、話し合い活動、振り返り活動の定着が図られ、授業スタイルの統一化による学力向上の取組が進められた。			
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—			
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
＜今後の方向性＞					総合判定
<p>学校における指導方法としてチームティーチングや習熟度別指導などを実施するほか、朝学習や長期休業日を活用した補足的な学習などに引き続き取り組むとともに、家庭における学習習慣の確立のため、家庭学習の手引きなどを作成し、宿題やドリルワークなどを活用して習慣化を図る。また、全国学力・学習状況調査への参加及び市内統一学力テストの実施を継続し、学力の状況を把握、分析することで各学校における指導改善の取組を推進し、児童生徒の基礎的・基本的な学力を身に付けさせ、学力の底上げを図る必要がある。</p>					継続

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	4 教員住宅管理費						
事務事業名	教員住宅管理業務										
決算額(円)	財源内訳(円)										
4,914,360	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源						
				3,475,235	1,439,125						
事業目的	教員住宅の適正な管理を行い、住宅の耐用年数延長及び居住の快適性を維持する。										
事業内容及び成果	<p>1 教員住宅の管理を行った。</p> <table border="1"> <tr> <td>管理戸数</td> <td>入居戸数</td> <td>入居率</td> </tr> <tr> <td>16戸</td> <td>14戸</td> <td>87.5%</td> </tr> </table> <p>2 教員住宅修繕</p> <p>浴室・脱衣室改修工事 2戸 3,850,000円</p> <p>その他小破修繕 延9件 634,260円</p>					管理戸数	入居戸数	入居率	16戸	14戸	87.5%
管理戸数	入居戸数	入居率									
16戸	14戸	87.5%									

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市職員住宅貸与規則		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	教員住宅の入居者の住宅環境の充実のため、教員住宅の維持管理に努める必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定	
今後も校長及び教頭住宅の良好な住宅環境の整備に努めるとともに、現在入居者がいるその他の住宅については、当面継続して貸与するために必要とされる整備を行っていく。		継続	

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	5 諸費																					
事務事業名	通学自動車運行事業																									
決算額(円)	財源内訳(円)																									
12,975,119	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																					
					12,975,119																					
事業目的	<p>小中学校の統合に伴う児童生徒及び徒歩による通学が困難な地域に居住する児童生徒の通学手段を確保する。また、学校行事等のために通学時以外にスクールバスを運行することにより、学校教育の円滑な実施に資する。</p>																									
事業内容及び成果	<p>小中学校の統合に伴い、通学校が変更となった児童生徒に対しては、市で購入したスクールバスを業者へ貸与し運行を委託するとともに、学校行事等のための通学時以外の運行は、スクールバスの委託業者と別途委託契約を締結し、円滑に事業が遂行された。</p> <p>(1) スクールバスの運行业務委託</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>委託料(年額)</th> <th>対象校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常磐線</td> <td>2,706,000円</td> <td>芦別小、芦別中</td> </tr> <tr> <td>新城線</td> <td>2,970,000円</td> <td>芦別小、芦別中</td> </tr> <tr> <td>野花南線</td> <td>3,927,000円</td> <td>上芦別小、啓成中</td> </tr> <tr> <td>西芦別線</td> <td>3,080,000円</td> <td>上芦別小、啓成中</td> </tr> <tr> <td>通学時以外</td> <td>231,619円</td> <td>全小中学校</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>12,914,619円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 自動車借上</p> <p>市の車両・スクールバスで対応不可である学校行事に対してバスを借上げた。</p> <p>1回 延べ1台 60,500円</p>					路線名	委託料(年額)	対象校	常磐線	2,706,000円	芦別小、芦別中	新城線	2,970,000円	芦別小、芦別中	野花南線	3,927,000円	上芦別小、啓成中	西芦別線	3,080,000円	上芦別小、啓成中	通学時以外	231,619円	全小中学校	合計	12,914,619円	
路線名	委託料(年額)	対象校																								
常磐線	2,706,000円	芦別小、芦別中																								
新城線	2,970,000円	芦別小、芦別中																								
野花南線	3,927,000円	上芦別小、啓成中																								
西芦別線	3,080,000円	上芦別小、啓成中																								
通学時以外	231,619円	全小中学校																								
合計	12,914,619円																									

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	小中学校の統合による通学困難地域に居住する児童生徒の通学手段を確保する必要がある。
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
<今後の方向性>		総合判定
今後も通学時以外の学習活動や学校行事に対してもスクールバスの運行を行うなど、学校要請に合わせた効率的な運行に努めていく。		継 続

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	5 諸費
事務事業名	その他教育総務事務				
決算額(円)	財源内訳(円)				
1,000	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					1,000
事業目的	本市の教育施設整備の際に必要な北海道公立文教施設整備期成会に対する負担金を支出する。				
事業内容及び成果	負担金 1,000円				

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令			
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	文教施設整備事業の予算確保について、国へ要望活動を行うための必要な負担金である。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>	総合判定		
本市の教育施設整備の際に必要な文教施設整備事業の予算確保のためにも、今後も継続して負担していく。	継続		

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	5 諸費																	
事務事業名	幼児教育推進事業																					
決算額(円)	財源内訳(円)																					
213,000	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																	
			200,000		13,000																	
事業目的	健やかで心豊かな子どもを育む幼稚園教育を推進するために必要な運営への助成及び教育環境の整備を支援する。																					
事業内容及び成果	<p>私立幼稚園に運営補助金を交付した。</p> <p>私立学校運営費補助</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">園名</th> <th colspan="2">市内</th> <th colspan="2">市外</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>助成額 (2,000円/人)</th> <th>人数</th> <th>助成額 (1,000円/人)</th> <th>助成額 合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芦別みどり幼稚園</td> <td>106人</td> <td>212,000円</td> <td>1人</td> <td>1,000円</td> <td>213,000円</td> </tr> </tbody> </table>					園名	市内		市外		合計	人数	助成額 (2,000円/人)	人数	助成額 (1,000円/人)	助成額 合計	芦別みどり幼稚園	106人	212,000円	1人	1,000円	213,000円
園名	市内		市外		合計																	
	人数	助成額 (2,000円/人)	人数	助成額 (1,000円/人)	助成額 合計																	
芦別みどり幼稚園	106人	212,000円	1人	1,000円	213,000円																	

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市私立学校助成条例、芦別市私立幼稚園就園奨励費補助金交付条例	
1. 必要性 (市が実施しなければならぬ理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	幼稚園教育に必要な運営及び教育環境の整備、並びに保護者の経済的負担の軽減を図るために必要である。
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
<今後の方向性>		総合判定
今後も運営補助金の交付を継続することにより、私立幼稚園の健全な発展を支援していく。		継続

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	5 諸費																																								
事務事業名	専門学校・大学による高等教育推進事業																																												
決算額(円)	財源内訳(円)																																												
28,644,818	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																																								
			400,000	4,558,000	23,686,818																																								
事業目的	<p>1 私立学校の振興発展及び教育の充実に資する。</p> <p>2 専門学校等への修学が困難な者に対して、修学を奨励し、職業に必要な能力を育成する。</p>																																												
事業内容及び成果	<p>経済的理由により市内専門学校への修学が困難な者に対する奨学金の貸付を行った。 また、市内私立学校への運営補助、及び市内私立学校入学生の保護者へ修学奨励金を交付した。</p> <p>(1) 専修学校奨学金貸与状況</p> <p>① 貸与件数 26件</p> <p>② 貸与金額 18,240,000円</p> <p>(内訳) 新規分 月額60,000円×12月×13人=9,360,000円 月額60,000円×11月×1人=660,000円 月額60,000円×5月×1人=300,000円 継続分 月額60,000円×12月×11人=7,920,000円</p> <p>(2) 私立学校運営費補助内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">住所区分 学校名</th> <th colspan="2">市内</th> <th colspan="2">市外</th> <th colspan="2">合計 A</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>助成額 (10,000円/人)</th> <th>人数</th> <th>助成額 (1,000円/人)</th> <th>人数</th> <th>助成額 合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門学校北日本自動車大学校</td> <td>35人</td> <td>350,000円</td> <td>12人</td> <td>12,000円</td> <td>47人</td> <td>362,000円</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">住所区分 学校名</th> <th colspan="2">市内</th> <th colspan="2">市外</th> <th colspan="2">合計 B</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>助成額 (10,000円/人)</th> <th>人数</th> <th>助成額(a) (500円/人)</th> <th>人数</th> <th>助成額 合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>星槎大学</td> <td>6人</td> <td>60,000円</td> <td>0人</td> <td>0円</td> <td>6人</td> <td>60,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 助成額(a)は、市内に住所を有しない生徒であって、スクーリングのため来校する生徒</p> <p>交付額合計(A+B)=422,000円</p>					住所区分 学校名	市内		市外		合計 A		人数	助成額 (10,000円/人)	人数	助成額 (1,000円/人)	人数	助成額 合計	専門学校北日本自動車大学校	35人	350,000円	12人	12,000円	47人	362,000円	住所区分 学校名	市内		市外		合計 B		人数	助成額 (10,000円/人)	人数	助成額(a) (500円/人)	人数	助成額 合計	星槎大学	6人	60,000円	0人	0円	6人	60,000円
住所区分 学校名	市内		市外		合計 A																																								
	人数	助成額 (10,000円/人)	人数	助成額 (1,000円/人)	人数	助成額 合計																																							
専門学校北日本自動車大学校	35人	350,000円	12人	12,000円	47人	362,000円																																							
住所区分 学校名	市内		市外		合計 B																																								
	人数	助成額 (10,000円/人)	人数	助成額(a) (500円/人)	人数	助成額 合計																																							
星槎大学	6人	60,000円	0人	0円	6人	60,000円																																							

次頁へ続く

(3) 修学奨励金交付内訳

学校名	区分	人数	助成額 A (300,000円/人)
専門学校北日本自動車大学校		25人	7,500,000円

学校名	住所区分 人数	市内		市外		合計 B	
		人数	助成額 (10,000円/人)	人数	助成額 (5,000円/人)	人数	助成額計
星槎大学	0人	0人	0円	0人	0円	0人	0円

交付額合計 (A + B) = 7,500,000円

(4) 学生確保対策補助金

学校名	区分	入寮費 (10,000円/人)	部屋代 (5,000円×12ヶ月/人)	合計
専門学校北日本自動車大学校		20人 200,000円	36人 2,035,000円	2,235,000円

※部屋代については、36人のうち1人は、中途入寮により7ヶ月分の額、1人は中途退寮により6ヶ月分の額、1人は中途入寮により5カ月分の額、1人は中途退寮により5カ月分の額。

(5) 通学費補助金

学校名	住所	富良野市	合計
専門学校北日本自動車大学校		1人 247,818円	1人 247,818円

(6) 入学生の状況 (各年度5月1日現在)

① 専門学校北日本自動車大学校

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
市内	10人	13人	17人	10人	8人	14人	17人	19人
市外	2人	1人	1人	9人	1人	5人	3人	9人
道外	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
計	12人	14人	18人	19人	9人	19人	20人	28人

② 星槎大学芦別キャンパス

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
市内	1人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人
市外	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
道外	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
計	1人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市私立学校助成条例、芦別市修学奨励金交付条例、芦別市専修学校奨学金貸与条例		
1. 必要性 (市が実施しなければならぬ理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	市をあげて誘致した学校の存続と入学生の確保のため、学校の運営に関する補助や学生に対する援助を行い、安定的な運営を支援する必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	各学校における学生募集活動や修学奨励金の交付制度、奨学金の貸与制度等の支援策により、専門学校北日本自動車大学の入学者が増加した。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定	
今後も学校法人の運営に関する補助を行うことにより、安定的な運営を支援するとともに、入学生の確保対策として修学奨励金の交付、専修学校奨学金の貸付、北日本自動車大学生への通学費及び寮費助成制度について継続して実施していく。		継続	

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	5 諸費																																																																										
事務事業名	高等学校教育推進事業																																																																														
決算額(円)	財源内訳(円)																																																																														
17,286,182	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																																																																										
			3,400,000		13,886,182																																																																										
事業目的	高等学校の振興発展及び教育の充実に資する。																																																																														
事業内容及び成果	<p>1 私立学校の運営補助及び修学者またはその保護者に対して助成を行った。</p> <p>(1) 私立学校運営費補助内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">住所区分 学校名</th> <th colspan="2">市内</th> <th colspan="3">市外</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>助成額 (10,000円/人)</th> <th>人数</th> <th>助成額(a) (1,000円/人)</th> <th>人数</th> <th>助成額(b) (500円/人)</th> <th>人数</th> <th>助成額 合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>星槎国際高等学校</td> <td>9人</td> <td>90,000円</td> <td>35人</td> <td>35,000円</td> <td>59人</td> <td>29,500円</td> <td>103人</td> <td>154,500円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 助成額(a)は、市内に住所を有しない生徒 2 助成額(b)は、市内に住所を有しない生徒(助成額(a)に該当する者を除く。)であって、スクーリングのため来校する生徒</p> <p>(2) 修学奨励金交付内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分 学校名</th> <th>助成額 (30,000円/人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>星槎国際高等学校</td> <td>21人 630,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 入学生の状況(各年度5月1日現在)</p> <p>星槎国際高等学校本部長</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内</td> <td>3人</td> <td>3人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>4人</td> <td>3人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>市外</td> <td>17人</td> <td>17人</td> <td>13人</td> <td>8人</td> <td>4人</td> <td>9人</td> <td>6人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>道外</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>20人</td> <td>20人</td> <td>14人</td> <td>9人</td> <td>8人</td> <td>12人</td> <td>6人</td> <td>13人</td> </tr> </tbody> </table>					住所区分 学校名	市内		市外			合計		人数	助成額 (10,000円/人)	人数	助成額(a) (1,000円/人)	人数	助成額(b) (500円/人)	人数	助成額 合計	星槎国際高等学校	9人	90,000円	35人	35,000円	59人	29,500円	103人	154,500円	区分 学校名	助成額 (30,000円/人)	星槎国際高等学校	21人 630,000円	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	市内	3人	3人	1人	1人	4人	3人	0人	1人	市外	17人	17人	13人	8人	4人	9人	6人	12人	道外	0人	計	20人	20人	14人	9人	8人	12人	6人	13人							
住所区分 学校名	市内		市外				合計																																																																								
	人数	助成額 (10,000円/人)	人数	助成額(a) (1,000円/人)	人数	助成額(b) (500円/人)	人数	助成額 合計																																																																							
星槎国際高等学校	9人	90,000円	35人	35,000円	59人	29,500円	103人	154,500円																																																																							
区分 学校名	助成額 (30,000円/人)																																																																														
星槎国際高等学校	21人 630,000円																																																																														
区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度																																																																							
市内	3人	3人	1人	1人	4人	3人	0人	1人																																																																							
市外	17人	17人	13人	8人	4人	9人	6人	12人																																																																							
道外	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人																																																																							
計	20人	20人	14人	9人	8人	12人	6人	13人																																																																							

次頁へ続く

2 芦別高校に在学する生徒の保護者に対して、通学費及び検定試験等受験料の助成を行った。

また、令和2年度より、芦別高校に入学した生徒の保護者のうち、芦別市内に住所を有している保護者に対して、修学奨励費助成として、芦別商工会議所発行の「どんぐり商品券」10万円分の交付を行った。

(1) 通学費助成の内訳

住所 \ 学年	1年生	2年生	3年生	合計
芦別市	2人 186,025円	0人 0円	4人 484,712円	6人 670,737円
赤平市	12人 733,440円	17人 2,628,030円	28人 3,644,618円	57人 7,006,088円
歌志内市	0人 0円	0人 0円	1人 141,120円	1人 141,120円
滝川市	2人 216,605円	1人 262,080円	4人 362,782円	7人 841,467円
深川市	0人 0円	1人 123,750円	0人 0円	1人 123,750円
上砂川町	1人 97,020円	0人 0円	0人 0円	1人 97,020円
合計	17人 1,233,090円	19人 3,013,860円	37人 4,633,232円	73人 8,880,182円

(2) 検定試験等受験料助成の内訳

種別 \ 学年	1年生	2年生	3年生	合計
各種検定等	延 11人 16,850円	延 30人 36,000円	延 42人 59,600円	延 83人 112,450円
模擬試験	延 4人 2,400円	延 22人 27,600円	延 69人 102,050円	延 95人 132,050円
合計	実人員 9人 延 15人 19,250円	実人員 25人 延 52人 63,600円	実人員 33人 延 111人 161,650円	実人員 67人 延 178人 244,500円

(3) 修学奨励費助成の内訳

助成対象者・・・令和2年度に芦別高校に入学した生徒の保護者のうち、芦別市内に住所を有している保護者

交付者数・・・38名

助成額・・・3,800,000円

3 芦別高校に在学する生徒が大学へ進学するための活動支援として補助金を交付した。

北海道芦別高等学校学力向上等支援事業費補助金

事業名	参加人数	補助金額
予備校夏期講習体験	0人	0円
カタリ場イン芦別高校開催	56人	196,000円
合計	56人	196,000円

※ 予備校夏期講習体験は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策により中止となった。

4 芦別高校に在学する生徒がグローバル社会に対応できるよう、外国語教育の充実を図るため、英語指導助手を派遣した。

英語指導助手等業務委託 英語指導助手 1人/週2回 3,381,000円

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市私立学校助成条例 芦別市修学奨励金交付条例	
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	道立の芦別高校のほか、市をあげて誘致した星椋国際高校の入学生確保のため、学校の運営に関する補助や生徒に対する援助を行い、安定的な運営を支援する必要がある。
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	令和2年度から芦別高校に入学する新1年生に対する通学費助成率を2分の1に改正(削減効果額1,233千円/年)するとともに、縮充及び生徒確保の観点から、市内中学校からの進学者に修学奨励費を新たに支給したことから、市負担額は年額2,567千円増加となったが、今後において通学費補助率の引き下げに伴う削減効果が発生していく。
	他の事業との統合や民間委託など <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定
星椋国際高校に対しては、学校法人の安定的な運営を支援するための補助制度、生徒確保対策のための修学奨励金交付制度を継続して実施していく。また、芦別高校に対しては、令和2年度から設けた地元からの進学率を高めるための新たな助成措置を継続するほか、芦別市高校問題協議会での議論を踏まえ、間口確保に対する支援を行っていく。		継 続

款	10 教育費	項	2 小学校費	目	1 学校管理費																																																		
事務事業名	小学校管理業務																																																						
決算額(円)	財源内訳(円)																																																						
37,896,283	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																																																		
	1,400,000				36,496,283																																																		
事業目的	各小学校の適切な管理運営を行い、教育環境の改善と充実を図る。																																																						
事業内容及び成果	<p>小学校の管理運営</p> <p>(1) 学校別施設修繕関係</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芦別小学校</td> <td>969,199円</td> </tr> <tr> <td>上芦別小学校</td> <td>708,283円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,677,482円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 備品整備関係</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>備品名</th> <th>数量</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芦別小学校</td> <td>検尺ロープ</td> <td>1個</td> <td>11,000円</td> </tr> <tr> <td>芦別小学校</td> <td>ライン引き</td> <td>1個</td> <td>26,136円</td> </tr> <tr> <td>芦別小学校</td> <td>検尺ロープ巻取器</td> <td>1個</td> <td>4,356円</td> </tr> <tr> <td>上芦別小学校</td> <td>業務用掃除機</td> <td>1台</td> <td>27,390円</td> </tr> <tr> <td>小学校2校</td> <td>タイムレコーダー</td> <td>2台(芦小・上小各1台)</td> <td>109,648円</td> </tr> <tr> <td>小学校2校</td> <td>加湿器</td> <td>31台(芦小20台・上小11台)</td> <td>1,698,180円</td> </tr> <tr> <td>上芦別小学校</td> <td>刈払機</td> <td>1台</td> <td>37,400円</td> </tr> <tr> <td>上芦別小学校</td> <td>乗用芝刈機</td> <td>1台</td> <td>520,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 小学校整備事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>事業内容</th> <th>総事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芦別小学校</td> <td>小荷物昇降機修繕</td> <td>4,290,000円</td> </tr> </tbody> </table>					学校名	金額	芦別小学校	969,199円	上芦別小学校	708,283円	合計	1,677,482円	学校名	備品名	数量	金額	芦別小学校	検尺ロープ	1個	11,000円	芦別小学校	ライン引き	1個	26,136円	芦別小学校	検尺ロープ巻取器	1個	4,356円	上芦別小学校	業務用掃除機	1台	27,390円	小学校2校	タイムレコーダー	2台(芦小・上小各1台)	109,648円	小学校2校	加湿器	31台(芦小20台・上小11台)	1,698,180円	上芦別小学校	刈払機	1台	37,400円	上芦別小学校	乗用芝刈機	1台	520,000円	学校名	事業内容	総事業費	芦別小学校	小荷物昇降機修繕	4,290,000円
学校名	金額																																																						
芦別小学校	969,199円																																																						
上芦別小学校	708,283円																																																						
合計	1,677,482円																																																						
学校名	備品名	数量	金額																																																				
芦別小学校	検尺ロープ	1個	11,000円																																																				
芦別小学校	ライン引き	1個	26,136円																																																				
芦別小学校	検尺ロープ巻取器	1個	4,356円																																																				
上芦別小学校	業務用掃除機	1台	27,390円																																																				
小学校2校	タイムレコーダー	2台(芦小・上小各1台)	109,648円																																																				
小学校2校	加湿器	31台(芦小20台・上小11台)	1,698,180円																																																				
上芦別小学校	刈払機	1台	37,400円																																																				
上芦別小学校	乗用芝刈機	1台	520,000円																																																				
学校名	事業内容	総事業費																																																					
芦別小学校	小荷物昇降機修繕	4,290,000円																																																					

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	学校保健安全法、芦別市立学校設置条例、芦別市立学校管理規則		
1. 必要性 (市が実施しなければならぬ理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	児童の教育環境の改善と充実を図るため、適切な管理が必要である。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	電気料の特約割引等による削減効果額 374 千円/年
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定	
今後も適切な修繕等の対応を行い、安全・安心な学校施設の維持管理に努めていく。また、芦別市立小中学校の配置基準・配置計画の見直しを受け、今後の児童数減少の動向を見極めながら、将来的な小学校統合を検討していく。		継 続	

款	10 教育費	項	2 小学校費	目	2 教育振興費																										
事務事業名	小学校教育振興事業																														
決算額(円)	財源内訳(円)																														
5,134,451	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																										
	159,000				4,975,451																										
事業目的	学習指導要領に基づいた教育活動を適切に実施することによって、基礎的・基本的な事項の確実な定着と確かな学力の向上を目指した学習指導の充実に努める。																														
事業内容及び成果	<p>1 授業用教材、教具等を効果的に整備した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>教材名</th> <th>数量</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">芦別小学校</td> <td>長座体前屈測定器</td> <td>2台</td> <td>35,200円</td> </tr> <tr> <td>ジャガー電子ミシン</td> <td>6台</td> <td>138,600円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 特別支援学級への補助員の配置状況 芦別小学校 6人 上芦別小学校 1人</p> <p>3 特別支援教育就学奨励費補助金の交付により、該当世帯の経済的負担の軽減を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人員</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特別支援教育就学奨励費補助</td> <td>2校 9人</td> <td>301,743円</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 学習指導要領の改訂に伴う教科書の変更により、教員に必要な教科書及び指導書の整備を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>教師用教科書</th> <th>教師用指導書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芦別小学校</td> <td>106,358円</td> <td>1,324,510円</td> </tr> <tr> <td>上芦別小学校</td> <td>44,170円</td> <td>1,324,510円</td> </tr> </tbody> </table>					学校名	教材名	数量	金額	芦別小学校	長座体前屈測定器	2台	35,200円	ジャガー電子ミシン	6台	138,600円	区分	人員	金額	特別支援教育就学奨励費補助	2校 9人	301,743円	学校名	教師用教科書	教師用指導書	芦別小学校	106,358円	1,324,510円	上芦別小学校	44,170円	1,324,510円
学校名	教材名	数量	金額																												
芦別小学校	長座体前屈測定器	2台	35,200円																												
	ジャガー電子ミシン	6台	138,600円																												
区分	人員	金額																													
特別支援教育就学奨励費補助	2校 9人	301,743円																													
学校名	教師用教科書	教師用指導書																													
芦別小学校	106,358円	1,324,510円																													
上芦別小学校	44,170円	1,324,510円																													

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令			
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	小学校の授業用教材・教具等の整備を図るなど、各学校における円滑な教育活動の推進と学校教育の振興を図る必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>	総合判定		
必要な教材教具を整備し、教育活動の充実に努めるとともに、特別支援学級に在籍する児童へのきめ細やかな対応を継続し、教育の振興を図っていく。	継続		

款	10 教育費	項	2 小学校費	目	2 教育振興費																																																
事務事業名	小学校就学援助事業																																																				
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)																																																				
3,655,984	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																																																
					3,655,984																																																
事業目的	経済的理由のため就学困難と認められる児童に対し、教育の機会を確保する。																																																				
事業内容及び成果	<p>保護者から提出された「申請書」により、収入額等を調査し、就学援助該当者と認定した者に就学援助費を支給した。</p> <p>※ 支給種別（学用品・通学用品費、給食費等）と金額は、各学校や学年、実績等により異なる。</p> <p>【要保護、準要保護世帯に対する扶助の内容】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>人 数</th> <th>金 額</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校外活動費扶助</td> <td>6人</td> <td>1,560円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>学用品・通学用品費等扶助</td> <td>46人</td> <td>536,765円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>修学旅行費扶助</td> <td>6人</td> <td>95,224円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>新入学学用品費扶助</td> <td>19人</td> <td>514,740円</td> <td>平成29年度から新1年生は早期支給を実施</td> </tr> <tr> <td>体育実技用具費等扶助</td> <td>15人</td> <td>395,300円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>運動着購入費</td> <td>9人</td> <td>54,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>学校給食費扶助</td> <td>46人</td> <td>1,937,235円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>医療費扶助</td> <td>11人</td> <td>2,510円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P T A会費</td> <td>29人</td> <td>46,200円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>卒業アルバム代等</td> <td>7人</td> <td>72,450円</td> <td>平成31年度から実施</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>延 194人</td> <td>3,655,984円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					区 分	人 数	金 額	備 考	校外活動費扶助	6人	1,560円		学用品・通学用品費等扶助	46人	536,765円		修学旅行費扶助	6人	95,224円		新入学学用品費扶助	19人	514,740円	平成29年度から新1年生は早期支給を実施	体育実技用具費等扶助	15人	395,300円		運動着購入費	9人	54,000円		学校給食費扶助	46人	1,937,235円		医療費扶助	11人	2,510円		P T A会費	29人	46,200円		卒業アルバム代等	7人	72,450円	平成31年度から実施	合 計	延 194人	3,655,984円	
区 分	人 数	金 額	備 考																																																		
校外活動費扶助	6人	1,560円																																																			
学用品・通学用品費等扶助	46人	536,765円																																																			
修学旅行費扶助	6人	95,224円																																																			
新入学学用品費扶助	19人	514,740円	平成29年度から新1年生は早期支給を実施																																																		
体育実技用具費等扶助	15人	395,300円																																																			
運動着購入費	9人	54,000円																																																			
学校給食費扶助	46人	1,937,235円																																																			
医療費扶助	11人	2,510円																																																			
P T A会費	29人	46,200円																																																			
卒業アルバム代等	7人	72,450円	平成31年度から実施																																																		
合 計	延 194人	3,655,984円																																																			

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	学校教育法、芦別市就学援助費支給条例		
1. 必要性 (市が実施しなければならぬ理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	経済的理由のため就学困難と認められる児童の保護者に対し、就学援助費を支給することにより、義務教育の円滑な実施を図る必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定	
今後も国の制度に準拠しつつ、経済的理由により、就学や教育機会を奪われるようなことがないよう事業を継続していく。		継 続	

款	10 教育費	項	2 小学校費	目	2 教育振興費
事務事業名	小学校情報化教育推進事業				
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)				
55,479,666	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
	44,977,589		7,300,000		3,202,077
事業目的	コンピュータ機器の普及により、早期からのコンピュータ教育の充実を図る。				
事業内容及び成果	国が推進するGIGAスクール構想に基づき、1人1台端末を導入し校内ネットワーク環境の整備を行った。				
学校名	機器名等	数量	金額		
芦別小学校	SKY 安心タブレット(児童用)	286台	18,590,000円		
	SKY 安心タブレット(教師用)	18台	1,170,000円		
	校内ネットワーク環境整備	-	9,748,420円		
上芦別小学校	SKY 安心タブレット(児童用)	88台	5,720,000円		
	SKY 安心タブレット(教師用)	10台	650,000円		
	校内ネットワーク環境整備	-	6,647,487円		

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令			
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	ICT教育の進展とGIGAスクール構想による1人1台端末の導入により、早期からICT機器を活用した教育の充実を図る必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	-	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	議会から、教職員に対するコンピュータ研修会を実施するよう要望あり。	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	-
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	-
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	-
<今後の方向性>			総合判定
学習指導要領の改訂に伴い、ICT教育及びプログラミング教育の実施は必須となっていることから、GIGAスクール構想により導入した1人1台端末を活用し、主体的な学びや個別最適化された教育の実現を図る。また上記要望を踏まえ、教員に対する研修等を実施し、活用能力の向上を図る。			継続

款	10 教育費	項	3 中学校費	目	1 学校管理費																																														
事務事業名	中学校管理業務																																																		
決算額(円)	財源内訳(円)																																																		
41,822,393	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																																														
	636,000				41,186,393																																														
事業目的	各中学校の適切な管理運営を行い、教育環境の改善と充実を図る。																																																		
事業内容及び成果	<p>中学校の管理運営</p> <p>(1) 学校別施設修繕関係</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芦別中学校</td> <td>546,649円</td> </tr> <tr> <td>啓成中学校</td> <td>598,314円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,144,963円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 備品関係</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>備品名</th> <th>数量</th> <th>総事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芦別中学校</td> <td>拡声器</td> <td>1台</td> <td>77,000円</td> </tr> <tr> <td>中学校2校</td> <td>テレビ</td> <td>5台(芦中3台・啓中2台)</td> <td>583,000円</td> </tr> <tr> <td>中学校2校</td> <td>タイムレコーダー</td> <td>2台(芦中・啓中各1台)</td> <td>109,648円</td> </tr> <tr> <td>中学校2校</td> <td>加湿器</td> <td>18台(芦中10台・啓中8台)</td> <td>986,040円</td> </tr> <tr> <td>啓成中学校</td> <td>刈払機</td> <td>1台</td> <td>67,100円</td> </tr> <tr> <td>芦別中学校</td> <td>除雪機</td> <td>1台</td> <td>1,680,800円</td> </tr> <tr> <td>啓成中学校</td> <td>水道メーター(電子式)</td> <td>1台</td> <td>140,800円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 中学校整備事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>事業内容</th> <th>総事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芦別中学校</td> <td>3線校舎屋上防水工事</td> <td>13,585,000円</td> </tr> </tbody> </table>					学校名	金額	芦別中学校	546,649円	啓成中学校	598,314円	合計	1,144,963円	学校名	備品名	数量	総事業費	芦別中学校	拡声器	1台	77,000円	中学校2校	テレビ	5台(芦中3台・啓中2台)	583,000円	中学校2校	タイムレコーダー	2台(芦中・啓中各1台)	109,648円	中学校2校	加湿器	18台(芦中10台・啓中8台)	986,040円	啓成中学校	刈払機	1台	67,100円	芦別中学校	除雪機	1台	1,680,800円	啓成中学校	水道メーター(電子式)	1台	140,800円	学校名	事業内容	総事業費	芦別中学校	3線校舎屋上防水工事	13,585,000円
学校名	金額																																																		
芦別中学校	546,649円																																																		
啓成中学校	598,314円																																																		
合計	1,144,963円																																																		
学校名	備品名	数量	総事業費																																																
芦別中学校	拡声器	1台	77,000円																																																
中学校2校	テレビ	5台(芦中3台・啓中2台)	583,000円																																																
中学校2校	タイムレコーダー	2台(芦中・啓中各1台)	109,648円																																																
中学校2校	加湿器	18台(芦中10台・啓中8台)	986,040円																																																
啓成中学校	刈払機	1台	67,100円																																																
芦別中学校	除雪機	1台	1,680,800円																																																
啓成中学校	水道メーター(電子式)	1台	140,800円																																																
学校名	事業内容	総事業費																																																	
芦別中学校	3線校舎屋上防水工事	13,585,000円																																																	

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	学校保健安全法、芦別市立学校設置条例、芦別市立学校管理規則		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	生徒の教育環境の改善と充実を図るため、適切な管理が必要である。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	電気料の特約割引等による削減効果額 320 千円/年
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定	
今後も適切な修繕等の対応を行い、安全・安心な学校施設の維持管理に努めていく。また、芦別市立小中学校の配置基準・配置計画の見直しを受け、中学校の統合に向けた取組を進めていく。		継 続	

款	10 教育費	項	3 中学校費	目	2 教育振興費																					
事務事業名	中学校教育振興事業																									
決算額(円)	財源内訳(円)																									
2,889,175	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																					
	96,000				2,793,175																					
事業目的	<p>学習指導要領に基づいた教育活動を適切に実施することによって、基礎的・基本的な事項の確実な定着と確かな学力の向上を目指した学習活動の充実に努める。また、部活動は、自らの適正や興味・関心等を追及していく機会として有効であることから、その意義や役割を踏まえながら、学校における取組を支援する。</p>																									
事業内容及び成果	<p>1 授業用教材、教具等を効果的に整備した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>教材名</th> <th>数量</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">芦別中学校</td> <td>集団用とびなわ</td> <td>1本</td> <td>8,360円</td> </tr> <tr> <td>デジタル生物顕微鏡</td> <td>1台</td> <td>108,020円</td> </tr> <tr> <td>啓成中学校</td> <td>デジタル生物顕微鏡</td> <td>1台</td> <td>108,020円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 特別支援学級への補助(介助)員の配置状況 芦別中学校 1人</p> <p>3 特別支援教育就学奨励費補助金の交付により、該当世帯の経済的負担の軽減を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人員</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特別支援教育就学奨励費補助</td> <td>2校 5人</td> <td>192,342円</td> </tr> </tbody> </table>					学校名	教材名	数量	金額	芦別中学校	集団用とびなわ	1本	8,360円	デジタル生物顕微鏡	1台	108,020円	啓成中学校	デジタル生物顕微鏡	1台	108,020円	区分	人員	金額	特別支援教育就学奨励費補助	2校 5人	192,342円
学校名	教材名	数量	金額																							
芦別中学校	集団用とびなわ	1本	8,360円																							
	デジタル生物顕微鏡	1台	108,020円																							
啓成中学校	デジタル生物顕微鏡	1台	108,020円																							
区分	人員	金額																								
特別支援教育就学奨励費補助	2校 5人	192,342円																								

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令		学校教育法、芦別市就学援助費支給条例	
1. 必要性 (市が実施しなければならぬ理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	中学校の授業用教材・教具等の整備を図るなど、各学校における円滑な教育活動の推進と学校教育の振興を図る必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>			総合判定
必要な教材教具を整備し、学習指導要領の改訂内容に基づく教育活動の充実を図るとともに、特別支援学級に在籍する生徒へのきめ細やかな対応を継続し、教育の振興を図っていく。			継 続

款	10 教育費	項	3 中学校費	目	2 教育振興費																																																				
事務事業名	中学校就学援助事業																																																								
決算額(円)	財源内訳(円)																																																								
4,362,884	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																																																				
					4,362,884																																																				
事業目的	経済的理由のため就学困難と認められる生徒に対し、教育の機会を確保する。																																																								
事業内容及び成果	<p>保護者から提出された「申請書」により、収入額等を調査し、就学援助該当者と認定した者に就学援助費を支給した。</p> <p>※ 支給種別(学用品・通学用品費、給食費等)と金額は、各学校や学年、実績等により異なる。</p> <p>【要保護、準要保護世帯に対する扶助の内容】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> <th>金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校外活動費扶助</td> <td>18人</td> <td>59,040円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>学用品・通学用品費等扶助</td> <td>38人</td> <td>871,794円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>修学旅行費扶助</td> <td>14人</td> <td>492,034円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>新入学学用品費扶助</td> <td>17人</td> <td>383,400円</td> <td>平成29年度から新1年生は早期支給を実施</td> </tr> <tr> <td>体育実技用具費等扶助</td> <td>0人</td> <td>0円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>学校給食費扶助</td> <td>38人</td> <td>2,033,676円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>医療費扶助</td> <td>0人</td> <td>0円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クラブ活動費</td> <td>26人</td> <td>293,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生徒会費</td> <td>37人</td> <td>50,540円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P T A会費</td> <td>30人</td> <td>51,900円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>卒業アルバム代等</td> <td>15人</td> <td>127,500円</td> <td>平成31年度から実施</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>延 233人</td> <td>4,362,884円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					区分	人数	金額	備考	校外活動費扶助	18人	59,040円		学用品・通学用品費等扶助	38人	871,794円		修学旅行費扶助	14人	492,034円		新入学学用品費扶助	17人	383,400円	平成29年度から新1年生は早期支給を実施	体育実技用具費等扶助	0人	0円		学校給食費扶助	38人	2,033,676円		医療費扶助	0人	0円		クラブ活動費	26人	293,000円		生徒会費	37人	50,540円		P T A会費	30人	51,900円		卒業アルバム代等	15人	127,500円	平成31年度から実施	合計	延 233人	4,362,884円	
区分	人数	金額	備考																																																						
校外活動費扶助	18人	59,040円																																																							
学用品・通学用品費等扶助	38人	871,794円																																																							
修学旅行費扶助	14人	492,034円																																																							
新入学学用品費扶助	17人	383,400円	平成29年度から新1年生は早期支給を実施																																																						
体育実技用具費等扶助	0人	0円																																																							
学校給食費扶助	38人	2,033,676円																																																							
医療費扶助	0人	0円																																																							
クラブ活動費	26人	293,000円																																																							
生徒会費	37人	50,540円																																																							
P T A会費	30人	51,900円																																																							
卒業アルバム代等	15人	127,500円	平成31年度から実施																																																						
合計	延 233人	4,362,884円																																																							

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	学校教育法、芦別市就学援助費支給条例		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	経済的理由のため就学困難と認められる生徒の保護者に対し、就学援助費を支給することにより、義務教育の円滑な実施を図る必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革（改善・改革等）の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定	
今後も国の制度に準拠しつつ、経済的理由により就学や教育機会を奪われるようなことがないよう事業を継続していく。		継 続	

款	10 教育費	項	3 中学校費	目	2 教育振興費
事務事業名	中学校情報化教育推進事業				
決算額(円)	財源内訳(円)				
55,693,025	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
	43,874,411		6,600,000		5,218,614
事業目的	中等教育におけるコンピュータ教育の充実を図る。				
事業内容及び成果	国が推進するGIGAスクール構想に基づき、1人1台端末を導入し、校内ネットワーク環境の整備を行ったほか、コンピュータ教室のICT機器を更新した。				
学校名	機器名等	数量	金額		
芦別中学校	SKY 安心タブレット(生徒用)	173台	11,245,000円		
	SKY 安心タブレット(教師用)	11台	715,000円		
	校内ネットワーク環境整備	-	8,375,928円		
啓成中学校	SKY 安心タブレット(生徒用)	56台	3,640,000円		
	SKY 安心タブレット(教師用)	7台	455,000円		
	校内ネットワーク環境整備	-	6,413,165円		
<更新した主なICT機器>					
学校名	機器名等	数量	金額		
芦別中学校	プロジェクター	6台	1,980,000円		
	デジタルカメラ	6台	200,112円		
	書画カメラ	6台	660,000円		
	インクジェットプリンタ	2台	76,560円		
啓成中学校	プロジェクター	3台	990,000円		
	デジタルカメラ	3台	100,056円		
	書画カメラ	3台	330,000円		
	インクジェットプリンタ	2台	76,560円		

次項へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	ICT教育の進展とGIGAスクール構想による1人1台端末を導入により、早期からICT機器を活用した教育の充実を図る必要がある。
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	議会から、教職員に対するコンピュータ研修会を実施するよう要望あり。
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
<今後の方向性>		総合判定
学習指導要領の改訂に伴い、ICT教育及びプログラミング教育の実施は必須となっていることから、GIGAスクール構想により導入した1人1台端末を活用し、主体的な学びや個別最適化された教育の実現を図る。また、上記の要望を踏まえ、教員に対する研修等を実施し、活用能力の向上を図る。		継 続

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	1 社会教育総務費																																					
事務事業名	社会教育委員活動事務																																									
決算額(円)	財源内訳(円)																																									
129,980	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																																					
					129,980																																					
事業目的	社会教育行政の推進を図ることを目的とする。																																									
事業内容及び成果	<p>社会教育委員会議を開催し、社会教育推進計画案等について協議を行うことで、社会教育委員としての資質向上に努めた。</p> <p>(1) 社会教育委員会議の開催</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>期日</th> <th>場所</th> <th>内容</th> <th>出席者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>6月25日(木)</td> <td>市民会館</td> <td>令和元年度事業報告について 高齢者大学の名称について</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>3月5日(金)</td> <td>市民会館</td> <td>令和2年度芦別市社会教育委員活動状況について 令和3年度芦別市社会教育推進計画(案)について</td> <td>9人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 各種研修会等への参加</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>期日</th> <th>場所</th> <th>本市からの出席者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空知管内社会教育委員研究協議会総会</td> <td>書面会議</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>空知管内社会教育委員研究協議会</td> <td>—</td> <td>—</td> <td rowspan="3">新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</td> </tr> <tr> <td>北海道市町村社会教育委員長等研修会</td> <td>7月6日(月) ～7日(火)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>北海道社会教育研究大会(渡島大会)</td> <td>11月8日(木) ～9日(金)</td> <td>函館市</td> </tr> <tr> <td>空知管内社会教育委員長等研修会</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						期日	場所	内容	出席者数	第1回	6月25日(木)	市民会館	令和元年度事業報告について 高齢者大学の名称について	10人	第2回	3月5日(金)	市民会館	令和2年度芦別市社会教育委員活動状況について 令和3年度芦別市社会教育推進計画(案)について	9人	名称	期日	場所	本市からの出席者数	空知管内社会教育委員研究協議会総会	書面会議	—	—	空知管内社会教育委員研究協議会	—	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	北海道市町村社会教育委員長等研修会	7月6日(月) ～7日(火)	—	北海道社会教育研究大会(渡島大会)	11月8日(木) ～9日(金)	函館市	空知管内社会教育委員長等研修会	—	—	
	期日	場所	内容	出席者数																																						
第1回	6月25日(木)	市民会館	令和元年度事業報告について 高齢者大学の名称について	10人																																						
第2回	3月5日(金)	市民会館	令和2年度芦別市社会教育委員活動状況について 令和3年度芦別市社会教育推進計画(案)について	9人																																						
名称	期日	場所	本市からの出席者数																																							
空知管内社会教育委員研究協議会総会	書面会議	—	—																																							
空知管内社会教育委員研究協議会	—	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止																																							
北海道市町村社会教育委員長等研修会	7月6日(月) ～7日(火)	—																																								
北海道社会教育研究大会(渡島大会)	11月8日(木) ～9日(金)	函館市																																								
空知管内社会教育委員長等研修会	—	—																																								

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	社会教育法、芦別市社会教育委員条例		
1. 必要性 (市が実施しなければならぬ理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	社会教育委員は、法及び芦別市社会教育委員条例に基づき設置されており、本市の社会教育、生涯学習を推進するうえで必要である。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	社会教育に関し、教育委員会に助言する職務を担い、行政と市民を結ぶパイプ的な役割を果たしており、各種事業の計画や実績に対し助言することにより、事業の改善や向上が図られている。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定	
今後も社会教育委員活動を充実させ、社会教育事業の推進を図っていく。		継 続	

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	2 社会教育振興費
事務事業名	各種講座・教室等実施事業				
決算額(円)	財源内訳(円)				
	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
2,891					2,891
事業目的	市民の多様化する学習ニーズに応え、生涯学習の観点を踏まえながら、各年齢層を対象とした講座・教室等を開催し、市民の自発的・自主的な学習活動を支援することを目的とする。				
事業内容及び成果	各年齢層を対象とした講座・教室等を開催し、市民の自発的・自主的な学習活動を支援する学習機会を提供した。				
	教室、講座等の開設				
	区 分	開設場所	開催日及び開催日数	参加人員	
	生涯学習まちづくり出前講座	市内一円	18回	延586人	
	レッツ・チャレンジ ① つくってあそぼう！紙コップテッポウ ② おうちプラネタリウムをつくろう！ ③ プラバンワクワク工作！	児童センター	7月18日(土) ～11月28日(土) 3回 ※全4回の予定であったが、うち1回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	延 16人	
	市民講座 森林療法講座	旭ヶ丘公園	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	教育基本法、社会教育法		
1. 必要性 (市が実施しなければならぬ理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	生涯学習・社会教育の推進の観点から、市が実施する必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	各年齢層を対象とした講座や教室等を実施することにより、市民の自発的・自主的な学習活動を支援することができ、市民の学びの機会の充実に寄与している。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定	
市民ニーズが高い講座の継続及び創出を図り、今後も生涯学習を推進していく。		継続	

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	2 社会教育振興費
事務事業名	各種大学等実施事業				
決算額(円)	財源内訳(円)				
52,624	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					52,624
事業目的	市民の多様化する学習ニーズに応え、生涯学習の観点を踏まえながら、ライフステージに応じた大学を設置し、市民の自発的・自主的な学習活動を支援することを目的とする。				
事業内容及び成果	各大学に応じた一般教養、創作活動やスポーツ体験等の講座・教室等を開催し、市民の自発的・自主的な学習活動を支援する学習機会を提供した。(月2回開設) 教室、講座等の開設				
	区分	開設場所	開催日及び開催日数		参加人員
	高齢者大学	市民会館ほか	7月1日(水)～2月17日(水) 16回		延 551人
	女性大学	＃	7月3日(金)～2月19日(金) 14回		延 420人
	※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止により7月から開催した(例年4月から開催)。				

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	教育基本法、社会教育法				
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	社会教育や生涯学習の機会を望む高齢者や女性が多い現状から、実施する必要がある。			
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	各大学を実施することにより、市民の自発的・自主的な学習活動を支援することができ、市民の学びの機会の充実に寄与している。			
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—			
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
<今後の方向性>					総合判定
今後も自主的な学習活動を支援できるよう、多様な学習機会を提供していく。					継続

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	2 社会教育振興費				
事務事業名	一般社会教育事務								
決算額(円)	財源内訳(円)								
74,387	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源				
					74,387				
事業目的	各種社会教育事業の推進を図ることを目的とする。								
事業内容及び成果	<p>社会教育に関する研修会等への参加による資質向上や推進計画に基づいた企画運営により、各種社会教育事業の推進を図った。</p> <p>推進計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>計画名</th> <th>計画期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第3次芦別市生涯学習推進計画</td> <td>令和2年度～令和11年度</td> </tr> </tbody> </table>					計画名	計画期間	第3次芦別市生涯学習推進計画	令和2年度～令和11年度
計画名	計画期間								
第3次芦別市生涯学習推進計画	令和2年度～令和11年度								

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	教育基本法、社会教育法	
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	生涯学習推進計画に基づき、各種社会教育団体と協力・連携し、社会教育事業を実施する必要がある。
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	社会教育に関する研修会等への参加による職員の資質向上を図ることにより、社会教育事業の創意・工夫につながり、市民の学びの機会の充実に寄与している。
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
<今後の方向性>		総合判定
今後も社会教育に関する研修会等への参加による資質向上を図るなど、各種社会教育事業を推進していく。		継続

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	2 社会教育振興費
事務事業名	成人式実施事業				
決算額(円)	財源内訳(円)				
3,709	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					3,709
事業目的	新しい時代に向かって夢と希望を抱き、成人となる者の門出を祝うことを目的とする。				
事業内容及び成果	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、1月10日(日)の開催を8月14日(土)に延期し、さらに令和4年1月15日(土)に再延期となった。				

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令					
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	新成人の新たな門出を市全体でお祝いする場が必要である。			
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止により事業が中止となった。			
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、市民より開催時期を見極めるよう要望あり。			
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
<今後の方向性>					総合判定
今後も参加者のニーズを把握し、事業内容の充実を図っていく。					継続

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	2 社会教育振興費								
事務事業名	家庭教育事業												
決算額(円)	財源内訳(円)												
19,553	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源								
					19,553								
事業目的	家庭の教育力向上を目指した親子参加型の体験教室等の実施、各種関係団体への補助をし、家庭教育に関する学習機会の充実を図る。												
事業内容及び成果	<p>実施事業</p> <p>(1) 幼児、小学生低学年とその親を対象とした「親子体験教室」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とし、その代替事業として「エソシカ肉カレーを作ろう動画」を芦別市公式YouTubeで配信。</p> <p>(2) 幼児、小・中学生、高校生を対象とした「ガタタンづくり動画」を芦別市公式YouTubeで配信。</p> <p>(3) 小学生高学年を対象とした「あしべつ通学合宿」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業内容</th> <th>会場</th> <th>開催日</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①生活体験 ②学習活動 ③体験活動 ④朝食・夕食作り 等</td> <td>宿泊交流センター</td> <td>—</td> <td>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 芦別市PTA連合会活動に対する交付金 0円(新型コロナウイルスの感染拡大防止のため事業実施なし)</p>					事業内容	会場	開催日	参加人数	①生活体験 ②学習活動 ③体験活動 ④朝食・夕食作り 等	宿泊交流センター	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
事業内容	会場	開催日	参加人数										
①生活体験 ②学習活動 ③体験活動 ④朝食・夕食作り 等	宿泊交流センター	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止										

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	教育基本法、社会教育法		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	家庭教育の支援は、家庭だけではなく、学校・地域・行政が連携して取り組む必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	地産地消をテーマとした動画の配信を実施することにより、食育にもつながり、家庭教育の充実に寄与することができた。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	芦別市PTA連合会から、安定的な事業運営のため、交付金の安定的交付と家庭教育の課題解決に向けた保護者教育の充実についての要望あり。また、行政改革推進委員会から、親子体験教室及び通学合宿において、教育の一環として全員が参加する中で、事業展開を進めていくべきとの提言を受けている。	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—

<今後の方向性>	総合判定
今後も学校・地域・青少年育成連絡協議会と連携し、家庭教育の充実や向上を図っていく。なお、上記の要望を踏まえ、PTA連合会活動に対する交付金を安定的に交付していく。また、上記の提言に対しては、全員参加となれば、社会教育のみならず学校教育の分野となるため、引き続き事業を継続しながらも、関係者との協議を進めていく。	継 続

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	2 社会教育振興費																														
事務事業名	異文化活動事務																																		
決算額(円)	財源内訳(円)																																		
0	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																														
事業目的	国際交流員を講師とした英会話講座等を実施し、英語能力の向上と異文化交流を行うことを目的とする。																																		
事業内容及び成果	<p>実施事業</p> <p>(1) 2期に分けて講座参加者の募集を行い、英会話講座を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期別</th> <th>主な内容</th> <th>実施回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">前期 (7月～9月)</td> <td>親子英会話講座</td> <td>8回</td> <td>72人</td> </tr> <tr> <td>英会話初級コース</td> <td>7回</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>英会話応用コース</td> <td>7回</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">後期 (11月～3月)</td> <td>親子英会話講座</td> <td>13回</td> <td>65人</td> </tr> <tr> <td>英会話初級コース</td> <td>0回</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>英会話応用コース</td> <td>13回</td> <td>52人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 留守家庭児童会に通う児童を対象とした、楽しみながら英語を学ぶ目的として実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>7月～2月 (毎月1～2回)</th> <th>実施回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>18回</td> <td>415人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※(1)～(2)新型コロナウイルス感染症感染拡大防止により7月から開催した(例年5月から開催)。</p> <p>(3) 市内学校のALT業務 24回</p>					期別	主な内容	実施回数	参加人数	前期 (7月～9月)	親子英会話講座	8回	72人	英会話初級コース	7回	28人	英会話応用コース	7回	7人	後期 (11月～3月)	親子英会話講座	13回	65人	英会話初級コース	0回	0人	英会話応用コース	13回	52人	7月～2月 (毎月1～2回)	実施回数	参加人数		18回	415人
期別	主な内容	実施回数	参加人数																																
前期 (7月～9月)	親子英会話講座	8回	72人																																
	英会話初級コース	7回	28人																																
	英会話応用コース	7回	7人																																
後期 (11月～3月)	親子英会話講座	13回	65人																																
	英会話初級コース	0回	0人																																
	英会話応用コース	13回	52人																																
7月～2月 (毎月1～2回)	実施回数	参加人数																																	
	18回	415人																																	

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	教育基本法、社会教育法		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	市民の基礎的な英語能力の向上、異文化交流などの学習機会の提供をするため、市が主体となって推進する必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	音楽やゲームなどを取り入れ、楽しみながら英語に触れる工夫をするなど、市民の英語能力の向上や異文化交流の推進に寄与している。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>			総合判定
今後も市民のニーズに対応するため、英会話講座・語学指導教室等の実施内容の充実を図っていく。			継 続

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	2 社会教育振興費
事務事業名	学習活動情報提供事務				
決算額(円)	財源内訳(円)				
0	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
事業目的	市民の自発的・自主的な生涯学習活動を支援することを目的とする。				
事業内容及び成果	ホームページ等を活用し、生涯学習活動に関する情報提供を行った。				

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市マナビリーダーバンク条例				
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	市民の自発的・自主的な学習活動の支援のために必要である。			
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—			
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—			
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
<今後の方向性>					総合判定
今後も市民の学習・体験ニーズに応えるため、ホームページ等を活用し、講座やサークルの活動状況などの情報提供を行っていく。					継 続

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	2 社会教育振興費
事務事業名	男女共同参画推進業務				
決算額(円)	財源内訳(円)				
0	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
事業目的	男女共同参画社会の形成を図ることを目的とする。				
事業内容及び成果	芦別市男女共同参画推進協議会に対する側面的支援を行った。 推進計画				
	計画名	計画期間			
	第2次芦別市男女共同参画推進計画	令和2年度～令和11年度			

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	男女共同参画社会基本法				
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	男女共同参画推進計画に基づき、男女共同参画社会の実現を図ることが必要である。			
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—			
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—			
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
<今後の方向性>					総合判定
今後も男女共同参画社会の形成を図るため、芦別市男女共同参画推進協議会に対する側面的支援を行っていく。					継続

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	3 青少年育成費																																																																														
事務事業名	青少年育成事業																																																																																		
決算額(円)	財源内訳(円)																																																																																		
636,577	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																																																																														
				135,000	501,577																																																																														
事業目的	青少年の健全育成に資する活動に対し、支援協力するとともに、青少年健全育成につながるリーダーの育成や指導者養成等を目的とする。																																																																																		
事業内容及び成果	<p>1 各種青少年健全育成事業を実施した。</p> <p>2 青少年育成団体等の活動を促進するため、交付金、補助金を交付した。</p> <p>3 青少年の交流・社会参加事業等実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施期日</th> <th>場所</th> <th>参加人数等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全市一斉親子クリーン作戦</td> <td>5月10日(日)ほか</td> <td>市内一円</td> <td>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</td> </tr> <tr> <td>青少年健全育成市民の集い</td> <td>2月7日(日)</td> <td>市民会館ほか</td> <td>45人</td> </tr> <tr> <td>「青少年の日」作文・標語募集・表彰</td> <td>募集期間 7月～9月 表彰 2月7日(日)</td> <td>小・中・高・専</td> <td>作文 25点 標語 68点</td> </tr> <tr> <td>青少年の顕彰</td> <td>2月7日(日)</td> <td>市民会館</td> <td>個人:3人 団体:1組</td> </tr> <tr> <td>各種展示</td> <td>2月7日(日)</td> <td>市民会館</td> <td>4校</td> </tr> <tr> <td>雪中運動会</td> <td>1月下旬</td> <td>上声別小学校</td> <td>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</td> </tr> <tr> <td>青少年育成連絡協議会補助</td> <td>年間</td> <td>6連合会</td> <td>会員 787人</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 青少年健全育成事業実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施期間</th> <th>場所</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>テレホン相談事業</td> <td>年間</td> <td>青年センター</td> <td>相談件数 1件</td> </tr> <tr> <td>「子どもたちの悩み」発行</td> <td>年1回</td> <td>学校・関係者</td> <td>各小・中・高・専門学校</td> </tr> <tr> <td>あいさつ運動の推進</td> <td>年間</td> <td>市内一円</td> <td>市広報紙による啓発</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 青少年団体リーダー及び育成指導者養成事業の実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施期日</th> <th>場所</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子ども会リーダー養成講習会(講習・宿泊)</td> <td>7月29日(水)～7月31日(金)</td> <td>国立大雪青少年交流の家</td> <td>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</td> </tr> <tr> <td>青少年の体験活動推進事業</td> <td>8月中旬</td> <td>北海道立青少年体験活動支援施設ネイバル砂川</td> <td>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</td> </tr> <tr> <td>フロンティアリーダー養成アカデミー</td> <td>1月23日(土)</td> <td>青年センター(WEB会議形式)</td> <td>高校生1人</td> </tr> <tr> <td>子ども会指導者養成講習会(前期)</td> <td>10月上旬</td> <td>総合体育館</td> <td>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</td> </tr> <tr> <td>子ども会指導者養成講習会(後期)</td> <td>12月中旬</td> <td>青年センター</td> <td>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</td> </tr> </tbody> </table> <p>6 実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>件数</th> <th>交付金総額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>青少年健全育成基金活用事業</td> <td>4件</td> <td>135,000円</td> </tr> </tbody> </table>					事業名	実施期日	場所	参加人数等	全市一斉親子クリーン作戦	5月10日(日)ほか	市内一円	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	青少年健全育成市民の集い	2月7日(日)	市民会館ほか	45人	「青少年の日」作文・標語募集・表彰	募集期間 7月～9月 表彰 2月7日(日)	小・中・高・専	作文 25点 標語 68点	青少年の顕彰	2月7日(日)	市民会館	個人:3人 団体:1組	各種展示	2月7日(日)	市民会館	4校	雪中運動会	1月下旬	上声別小学校	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	青少年育成連絡協議会補助	年間	6連合会	会員 787人	事業名	実施期間	場所	参加人数	テレホン相談事業	年間	青年センター	相談件数 1件	「子どもたちの悩み」発行	年1回	学校・関係者	各小・中・高・専門学校	あいさつ運動の推進	年間	市内一円	市広報紙による啓発	事業名	実施期日	場所	参加人数	子ども会リーダー養成講習会(講習・宿泊)	7月29日(水)～7月31日(金)	国立大雪青少年交流の家	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	青少年の体験活動推進事業	8月中旬	北海道立青少年体験活動支援施設ネイバル砂川	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	フロンティアリーダー養成アカデミー	1月23日(土)	青年センター(WEB会議形式)	高校生1人	子ども会指導者養成講習会(前期)	10月上旬	総合体育館	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	子ども会指導者養成講習会(後期)	12月中旬	青年センター	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	事業名	件数	交付金総額	青少年健全育成基金活用事業	4件	135,000円
事業名	実施期日	場所	参加人数等																																																																																
全市一斉親子クリーン作戦	5月10日(日)ほか	市内一円	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止																																																																																
青少年健全育成市民の集い	2月7日(日)	市民会館ほか	45人																																																																																
「青少年の日」作文・標語募集・表彰	募集期間 7月～9月 表彰 2月7日(日)	小・中・高・専	作文 25点 標語 68点																																																																																
青少年の顕彰	2月7日(日)	市民会館	個人:3人 団体:1組																																																																																
各種展示	2月7日(日)	市民会館	4校																																																																																
雪中運動会	1月下旬	上声別小学校	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止																																																																																
青少年育成連絡協議会補助	年間	6連合会	会員 787人																																																																																
事業名	実施期間	場所	参加人数																																																																																
テレホン相談事業	年間	青年センター	相談件数 1件																																																																																
「子どもたちの悩み」発行	年1回	学校・関係者	各小・中・高・専門学校																																																																																
あいさつ運動の推進	年間	市内一円	市広報紙による啓発																																																																																
事業名	実施期日	場所	参加人数																																																																																
子ども会リーダー養成講習会(講習・宿泊)	7月29日(水)～7月31日(金)	国立大雪青少年交流の家	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止																																																																																
青少年の体験活動推進事業	8月中旬	北海道立青少年体験活動支援施設ネイバル砂川	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止																																																																																
フロンティアリーダー養成アカデミー	1月23日(土)	青年センター(WEB会議形式)	高校生1人																																																																																
子ども会指導者養成講習会(前期)	10月上旬	総合体育館	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止																																																																																
子ども会指導者養成講習会(後期)	12月中旬	青年センター	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止																																																																																
事業名	件数	交付金総額																																																																																	
青少年健全育成基金活用事業	4件	135,000円																																																																																	

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令		芦別市青少年健全育成事業補助金交付条例	
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	行政が活動に対する支援や協力、青少年リーダーの育成、指導者の養成等を行う必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	次代を担う青少年に対し、ボランティア活動や体験事業等の健全育成事業を実施することにより、社会性や協調性などを学ぶ貴重な機会となっている。また、青少年の顕彰等を行うことにより、文化・スポーツ等の取組に対する励みとなっている。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	行政改革推進委員会から、参加者の減少等に伴う全市一斉親子クリーン作戦、市民の集い、リーダー養成講習会等の事業の見直しについて提言がなされている。	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>			総合判定
今後も青少年の健全育成を目指し、事業を継続して実施していく。なお、上記の提言を踏まえ、青少年育成連絡協議会と協議しながら、参加者の増加を含めた事業の見直しを進めていくこととする。			継 続

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	3 青少年育成費																					
事務事業名	青少年非行防止活動業務																									
決算額(円)	財源内訳(円)																									
588,742	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																					
					588,742																					
事業目的	青少年の非行防止活動を効果的かつ総合的に推進する。																									
事業内容及び成果	<p>青少年センターを設置し、関係機関・団体との連携を密にし、協力しながら各種補導業務、環境浄化活動等に当たった。</p> <p>活動状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>主な内容</th> <th>回数等</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補導員パトロールの実施</td> <td>地域パトロール</td> <td>市内</td> <td>随時</td> </tr> <tr> <td>祭典特別パトロール</td> <td colspan="2">新型コロナウイルス拡大防止のため中止</td> </tr> <tr> <td>非行防止特別パトロール</td> <td>31日</td> <td>36人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">有害環境浄化活動の実施</td> <td>有害図書等立入調査</td> <td>7月29日(水)</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>環境浄化モニター部会</td> <td>7月29日(水)</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table>					事業名	主な内容	回数等	人数	補導員パトロールの実施	地域パトロール	市内	随時	祭典特別パトロール	新型コロナウイルス拡大防止のため中止		非行防止特別パトロール	31日	36人	有害環境浄化活動の実施	有害図書等立入調査	7月29日(水)	4人	環境浄化モニター部会	7月29日(水)	4人
事業名	主な内容	回数等	人数																							
補導員パトロールの実施	地域パトロール	市内	随時																							
	祭典特別パトロール	新型コロナウイルス拡大防止のため中止																								
	非行防止特別パトロール	31日	36人																							
有害環境浄化活動の実施	有害図書等立入調査	7月29日(水)	4人																							
	環境浄化モニター部会	7月29日(水)	4人																							

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市青少年センター規則		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	青少年センターの専門員や補導員が連携し、街頭補導活動等により、青少年が犯罪等に巻き込まれる事態を未然に防ぐ必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	専門員・補導員が街頭補導活動等を実施することにより、青少年の非行防止及び青少年の健全育成につながり、市民の安心安全に寄与している。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	行政改革推進委員会から、補導員のパトロールや有害環境浄化活動の実施については、子どもたちの非行防止の観点からも重要な事業であるため、経費をかけてでも実施すべき事業であるとの提言がなされている。また、一部の町内会から、高齢化により、推薦が難しくなってきたとの意見がある。	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>			
上記の提言及び意見を踏まえ、各町内会の事情を考慮しつつ、今後も芦別市青少年センターの活動を継続し、非行防止活動に努めていく。			総合判定
			継続

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	3 青少年育成費
事務事業名	青少年安全対策事務				
決算額(円)	財源内訳(円)				
0	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
事業目的	不審者による事件・事故を未然に防止することを目的とする。				
事業内容及び成果	<p>青少年の安全を確保するため、「子ども110番緊急避難所」を設置しており（令和2年度末現在168か所）、芦別小学校児童を対象に駆け込み訓練を1回実施した。また、犯罪等を抑止するため、青色回転灯装着公用車による巡回パトロールを実施した。（令和2年度～本町地区2回、上芦別地区1回、西芦別・頼城地区1回、合計4回）</p>				

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令					
1. 必要性 (市が実施しなければならぬ理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	「子ども110番緊急避難所」の設置個所の拡大に努め、駆け込み訓練の実施など市と市民が一体となって子どもの安全を守ることが必要である。			
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	不審者による事件・事故を未然に防止するための小学校・保育園での駆け込み訓練の実施及び青色回転灯装着公用車による巡回パトロールの実施により、青少年の安全安心な地域環境の整備に寄与している。			
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—			
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
<今後の方向性>					総合判定
<p>今後も緊急避難所の拡大を図り、不審者が出没にした際に、メール等により専門員・捕導員へ迅速に情報提供を行うとともに、青色回転灯装着公用車による巡回パトロール等を実施し、上記の提言も踏まえ、継続して青少年の安全対策に努めていく。</p>					継続

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	4 文化振興費
事務事業名	芸術・文化活動業務				
決算額(円)	財源内訳(円)				
157,042	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					157,042
事業目的	地域に根ざした芸術文化を支援するとともに、市民が文化的活動に触れる機会や体験する機会を提供し、地域の芸術文化活動の活性化を図ることを目的とする。				
事業内容及び成果	本市の文化振興の発展に貢献した指導者に対する表彰を行った。				
	(1) 実施状況				
	事業名	交付先	内容	交付金額	
	芦別市文化連盟 活動事業 (期間 令和3年度)	芦別市文化連盟	① 本市文化の推進及び文化団体相互の連携強化を図るための事業を開催 表彰授賞式 11月3日(火・文化の日) 功労賞5人 ② 各種展示発表、文芸講演・研修等については、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止	157,042円	
	(2) 星の降る里ウインズバンドプロジェクトに対する補助 ポップスコンクール等開催事業 0円(新型コロナウイルスの感染防止のため中止)				

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令			
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い		市民の活発な芸術文化活動を促すため必要な事業である。
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した		文化団体等を支援することにより、市民が文化活動に触れる機会や体験する機会の充実につながり、文化の向上に寄与している。
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		—
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>			総合判定
今後も市民が芸術文化に触れる機会を提供するとともに、親しめる環境の整備などを行う。			継続

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	4 文化振興費														
事務事業名	芸術文化交流館管理運営業務																		
決算額(円)	財源内訳(円)																		
1,540,059	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源														
				2,940	1,537,119														
事業目的	芸術文化活動の発表・交流の場を提供するため、芸術文化交流館の適切な管理運営を行う。																		
事業内容及び成果	<p>市民が気軽に芸術文化活動に参加できるように、既存施設の有効活用に努めた。</p> <p>来館状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年間来館者数</th> <th>開館日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内</td> <td>296人</td> <td>131日</td> </tr> <tr> <td>市外</td> <td>133人</td> <td rowspan="2">※新型コロナウイルス感染症 拡大防止による閉館 日数31日間</td> </tr> <tr> <td>道外</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td colspan="2">432人(団体6件・98人含む)</td> </tr> </tbody> </table>					区分	年間来館者数	開館日数	市内	296人	131日	市外	133人	※新型コロナウイルス感染症 拡大防止による閉館 日数31日間	道外	3人	計	432人(団体6件・98人含む)	
区分	年間来館者数	開館日数																	
市内	296人	131日																	
市外	133人	※新型コロナウイルス感染症 拡大防止による閉館 日数31日間																	
道外	3人																		
計	432人(団体6件・98人含む)																		

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市芸術文化交流館条例		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	本市の芸術文化を道内外に発信する拠点施設であり、市が関与して、芸術文化交流館を管理・運営する必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	道内外で活躍する芸術家の創作活動及び作品展示の場や、地域や来館者との交流の場となっており、文化の向上が図られている。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	行政改革推進委員会から、芸術文化交流館は、建築後50年以上経過しており、施設の存続が困難となった場合には、他の施設との統合も検討すべきであるとの提言がなされている。	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	上記の提言を踏まえ、当面は現施設の活用を継続していくが、施設の維持管理や運営について指定管理者と話し合いを設けながら、施設のあり方を検討していく。
<今後の方向性>			
今後もPR活動を行い来館者の増加を図りながら、芸術家及び市民が利用しやすい芸術文化活動振興の拠点施設を目指し、指定管理者による効果的な管理運営に努める。			
総合判定			
継続			

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	5 体育振興費
事務事業名	スポーツ推進委員事務				
決算額(円)	財源内訳(円)				
304,708	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					304,708
事業目的	スポーツに関する各種団体の育成や市民への実技指導などを行い、スポーツの振興を図ることを目的とする。				
事業内容及び成果	市民の求めに応じて、スポーツの実技指導や市主催スポーツ行事・事業等の協力を行い、市民に対しスポーツ推進の啓発を行った。 スポーツ推進委員 11人				

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	スポーツ基本法、芦別市スポーツ推進委員に関する規則			
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	スポーツの振興を図るため必要な事業である。		
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止により事業が中止となった。		
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
<今後の方向性>				総合判定
今後も市民のスポーツ活動の促進を図るほか、各種スポーツ事業の振興を図っていく。				継続

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	5 体育振興費																																																																	
事務事業名	スポーツ教室開設事業																																																																					
決算額(円)	財源内訳(円)																																																																					
266,700	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																																																																	
					266,700																																																																	
事業目的	市民に対しスポーツを行う機会を提供することで、スポーツの普及、スポーツ技術の向上、健康増進を図る。																																																																					
事業内容及び成果	<p>年齢に合わせた各種スポーツ教室を開催した。</p> <p>スポーツ教室開設状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教室名</th> <th>教室日</th> <th>会場</th> <th>参加人数</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5">子どもスポーツ教室</td> </tr> <tr> <td>子どもスキー教室</td> <td>1月9日(土) 1月10日(日)</td> <td>カムイスキーリンクス</td> <td>延 22人</td> <td>基礎指導</td> </tr> <tr> <td colspan="5">成人スポーツ教室</td> </tr> <tr> <td>ノルディックウォーキング教室</td> <td>6月11日(木) ～7月16日(木)</td> <td>なまこ山総合運動公園</td> <td>延 103人</td> <td>ウォーキング指導 ノルディックウォーキング指導</td> </tr> <tr> <td>スロージョギング&ノルディックウォーキング教室</td> <td>10月29日(木) ～12月24日(木)</td> <td>総合体育館</td> <td>延 209人</td> <td>スロージョギング指導 ウォーキング指導 ノルディックウォーキング指導</td> </tr> <tr> <td>ストレッチエクササイズ(昼の部)</td> <td>9月9日(水) ～10月7日(水)</td> <td>総合体育館</td> <td>延 46人</td> <td>軽運動を取り入れたストレッチエクササイズ教室</td> </tr> <tr> <td>ストレッチエクササイズ(夜の部)</td> <td>9月9日(水) ～10月7日(水)</td> <td>総合体育館</td> <td>延 89人</td> <td>軽運動を取り入れたストレッチエクササイズ教室</td> </tr> <tr> <td>ウエイトトレーニング初心者講習会</td> <td>3月18日(木)</td> <td>総合体育館</td> <td>延 9人</td> <td>令和元年度に導入したウエイトトレーニングマシンの効果的な使用方法、年齢、目的に合わせたトレーニング指導</td> </tr> <tr> <td>ウエイトトレーニング教室</td> <td>毎週全曜日</td> <td>油谷体育館 トレーニングセンター</td> <td>延 150人</td> <td>ウエイトトレーニング機器の専門知識習得教室</td> </tr> <tr> <td colspan="5">巡回スポーツ教室</td> </tr> <tr> <td colspan="5">巡回スポーツ開催実績なし</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>延 628人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					教室名	教室日	会場	参加人数	内容	子どもスポーツ教室					子どもスキー教室	1月9日(土) 1月10日(日)	カムイスキーリンクス	延 22人	基礎指導	成人スポーツ教室					ノルディックウォーキング教室	6月11日(木) ～7月16日(木)	なまこ山総合運動公園	延 103人	ウォーキング指導 ノルディックウォーキング指導	スロージョギング&ノルディックウォーキング教室	10月29日(木) ～12月24日(木)	総合体育館	延 209人	スロージョギング指導 ウォーキング指導 ノルディックウォーキング指導	ストレッチエクササイズ(昼の部)	9月9日(水) ～10月7日(水)	総合体育館	延 46人	軽運動を取り入れたストレッチエクササイズ教室	ストレッチエクササイズ(夜の部)	9月9日(水) ～10月7日(水)	総合体育館	延 89人	軽運動を取り入れたストレッチエクササイズ教室	ウエイトトレーニング初心者講習会	3月18日(木)	総合体育館	延 9人	令和元年度に導入したウエイトトレーニングマシンの効果的な使用方法、年齢、目的に合わせたトレーニング指導	ウエイトトレーニング教室	毎週全曜日	油谷体育館 トレーニングセンター	延 150人	ウエイトトレーニング機器の専門知識習得教室	巡回スポーツ教室					巡回スポーツ開催実績なし					合計			延 628人	
教室名	教室日	会場	参加人数	内容																																																																		
子どもスポーツ教室																																																																						
子どもスキー教室	1月9日(土) 1月10日(日)	カムイスキーリンクス	延 22人	基礎指導																																																																		
成人スポーツ教室																																																																						
ノルディックウォーキング教室	6月11日(木) ～7月16日(木)	なまこ山総合運動公園	延 103人	ウォーキング指導 ノルディックウォーキング指導																																																																		
スロージョギング&ノルディックウォーキング教室	10月29日(木) ～12月24日(木)	総合体育館	延 209人	スロージョギング指導 ウォーキング指導 ノルディックウォーキング指導																																																																		
ストレッチエクササイズ(昼の部)	9月9日(水) ～10月7日(水)	総合体育館	延 46人	軽運動を取り入れたストレッチエクササイズ教室																																																																		
ストレッチエクササイズ(夜の部)	9月9日(水) ～10月7日(水)	総合体育館	延 89人	軽運動を取り入れたストレッチエクササイズ教室																																																																		
ウエイトトレーニング初心者講習会	3月18日(木)	総合体育館	延 9人	令和元年度に導入したウエイトトレーニングマシンの効果的な使用方法、年齢、目的に合わせたトレーニング指導																																																																		
ウエイトトレーニング教室	毎週全曜日	油谷体育館 トレーニングセンター	延 150人	ウエイトトレーニング機器の専門知識習得教室																																																																		
巡回スポーツ教室																																																																						
巡回スポーツ開催実績なし																																																																						
合計			延 628人																																																																			

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市社会教育推進計画		
1. 必要性 (市が実施しなければならぬ理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	各種スポーツ教室を通じて、市民が体を動かす機会を提供し、スポーツの振興と健康の増進を図る。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定	
スポーツに対する市民の関心が高まるよう、魅力のある教室を開催していくほか、時代に即した新たな教室等の開催も検討していき、より多くの市民が参加し、スポーツ振興と健康増進に向けた事業展開を図っていく。		継 続	

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	5 体育振興費
事務事業名	健康都市宣言等事業				
決算額(円)	財源内訳(円)				
191,895	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					191,895
事業目的	健康都市宣言を記念する各種スポーツ大会を開催し、健康づくりを行うとともに、スポーツの普及・発展・体力の増進を図る。				
事業内容及び成果	健康都市宣言記念大会等において各種スポーツ大会を開催した。 実施状況				
	種 目	実施期日	参加人員		
	チャレンジデー2020	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
	市民ラジオ体操会兼市民あるけあるけ運動	10月11日(日)	487人		
	スポーツ少年団交流会	10月3日(土)、4日(日)、11日(日)	377人		
	星の降る里あしべつ杯パークゴルフ大会	10月5日(月)	60人		
	合 計		924人		

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	健康都市宣言	
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	健康都市宣言に基づく事業として、宣言の理念である市民に健康で幸せな生活を送っていただくため、各種事業の実施は必要である。
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止により一部事業が中止となった。
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他の事業との統合委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
<今後の方向性>		総合判定
今後はこれまでの各種スポーツ大会に限らず、健康推進事業の充実強化を図るため、既存事業の見直しや新たな事業展開も検討しつつ、健康都市宣言にふさわしい事業を実施していく。(令和3年度から4款・衛生費に予算科目を組み替えながら、健康都市宣言等事業を推進していく。)		継 続

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	5 体育振興費																		
事務事業名	B&G海洋センター事業																						
決算額(円)	財源内訳(円)																						
30,000	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																		
					30,000																		
事業目的	水泳・海洋性スポーツ等を通じて水泳技術の向上と海事思想普及・健康・体力づくりを推進するとともに、地域住民相互のふれあい交流の場の提供を図ることを目的とする。																						
事業内容及び成果	<p>(1) スポーツグループ養成教室の開放</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教室名</th> <th>実施期間</th> <th>日数</th> <th>参加人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>キッズスイミングクラブ</td> <td colspan="3" rowspan="7">新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</td> </tr> <tr> <td>ジュニアスイミングクラブ(A)</td> </tr> <tr> <td>ジュニアスイミングクラブ(B)</td> </tr> <tr> <td>ジュニアスイミングクラブ(育成)</td> </tr> <tr> <td>シニアスイミングクラブ(A)</td> </tr> <tr> <td>シニアスイミングクラブ(B)</td> </tr> <tr> <td>水中エアロビクス教室</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 市民水泳記録会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>(3) 委託事業(委託先 B&G芦別海洋クラブ)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B&Gスポーツ大会北海道大会等 選手派遣事業委託</td> <td>(水泳の部) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</td> </tr> </tbody> </table>					教室名	実施期間	日数	参加人員	キッズスイミングクラブ	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			ジュニアスイミングクラブ(A)	ジュニアスイミングクラブ(B)	ジュニアスイミングクラブ(育成)	シニアスイミングクラブ(A)	シニアスイミングクラブ(B)	水中エアロビクス教室	事業名	事業内容	B&Gスポーツ大会北海道大会等 選手派遣事業委託	(水泳の部) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
教室名	実施期間	日数	参加人員																				
キッズスイミングクラブ	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止																						
ジュニアスイミングクラブ(A)																							
ジュニアスイミングクラブ(B)																							
ジュニアスイミングクラブ(育成)																							
シニアスイミングクラブ(A)																							
シニアスイミングクラブ(B)																							
水中エアロビクス教室																							
事業名	事業内容																						
B&Gスポーツ大会北海道大会等 選手派遣事業委託	(水泳の部) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止																						

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市社会教育推進計画		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	幅広い世代に対応した各種水泳教室や海洋クラブ活動等を実施することで、市民の体力・健康の増進や水難事故の防止等に効果的である。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止により事業が中止となった。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定	
今後も継続して水泳教室や海洋クラブ活動等、海洋センター事業を実施していくとともに、プール及び艇庫等の老朽化が進んでいることから、各施設のあり方について関係団体等と協議していく。		継 続	

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	5 体育振興費																																																						
事務事業名	各種体育団体助成事業																																																										
決算額(円)	財源内訳(円)																																																										
571,350	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																																																						
				296,000	275,350																																																						
事業目的	各種体育団体の育成及びスポーツ振興、市民の健康増進を図ることを目的とする。																																																										
事業内容及び成果	<p>各種体育団体に対し、交付金または補助金を交付した。</p> <p>(1) 団体交付</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>交付先</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芦別市体育協会事業</td> <td>芦別市体育協会</td> <td>275,350円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 芦別市スポーツ少年団対外競技出場補助</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>交付先</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第40回高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会</td> <td>芦別ジュニアスターズスポーツ少年団</td> <td>11,000円</td> </tr> <tr> <td>オール空知交流野球大会</td> <td>芦別ジュニアスターズスポーツ少年団</td> <td>10,000円</td> </tr> <tr> <td>FIGHTERS BASEBALL CHAMPIONSHIP U-12 中空知支部大会</td> <td>芦別ジュニアスターズスポーツ少年団</td> <td>16,000円</td> </tr> <tr> <td>秋季少年支部大会</td> <td>芦別ジュニアスターズスポーツ少年団</td> <td>25,000円</td> </tr> <tr> <td>第27回アジアスポーツ中西真一杯U-10少年サッカー大会</td> <td>芦別サッカー少年団</td> <td>9,000円</td> </tr> <tr> <td>第17回倉本道新杯U-12少年サッカー大会</td> <td>芦別サッカー少年団</td> <td>11,000円</td> </tr> <tr> <td>会長杯争奪中北空知少年野球選手権大会</td> <td>芦別ジュニアスターズスポーツ少年団</td> <td>11,000円</td> </tr> <tr> <td>第4回FCSUNAGAWACUP U12少年サッカー大会</td> <td>芦別サッカー少年団</td> <td>10,000円</td> </tr> <tr> <td>2020年度北空知地区U12交流戦</td> <td>芦別バスケットボールスポーツ少年団</td> <td>20,000円</td> </tr> <tr> <td>2020年度北空知地区U12交流リーグ</td> <td>芦別バスケットボールスポーツ少年団</td> <td>62,000円</td> </tr> <tr> <td>第41回北空知地区ミニバスケットボール大会</td> <td>芦別バスケットボールスポーツ少年団</td> <td>59,000円</td> </tr> <tr> <td>U-10砂川フットサル交流大会</td> <td>芦別サッカー少年団</td> <td>10,000円</td> </tr> <tr> <td>U-12卒業記念フットサル大会</td> <td>芦別サッカー少年団</td> <td>10,000円</td> </tr> <tr> <td>第22回滝川ライオンズクラブ杯ミニバスケットボール大会</td> <td>芦別バスケットボールスポーツ少年団</td> <td>32,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3団体 14大会</td> <td>296,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) スポーツ振興事業補助 実績なし</p>					区分	交付先	金額	芦別市体育協会事業	芦別市体育協会	275,350円	区分	交付先	金額	第40回高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会	芦別ジュニアスターズスポーツ少年団	11,000円	オール空知交流野球大会	芦別ジュニアスターズスポーツ少年団	10,000円	FIGHTERS BASEBALL CHAMPIONSHIP U-12 中空知支部大会	芦別ジュニアスターズスポーツ少年団	16,000円	秋季少年支部大会	芦別ジュニアスターズスポーツ少年団	25,000円	第27回アジアスポーツ中西真一杯U-10少年サッカー大会	芦別サッカー少年団	9,000円	第17回倉本道新杯U-12少年サッカー大会	芦別サッカー少年団	11,000円	会長杯争奪中北空知少年野球選手権大会	芦別ジュニアスターズスポーツ少年団	11,000円	第4回FCSUNAGAWACUP U12少年サッカー大会	芦別サッカー少年団	10,000円	2020年度北空知地区U12交流戦	芦別バスケットボールスポーツ少年団	20,000円	2020年度北空知地区U12交流リーグ	芦別バスケットボールスポーツ少年団	62,000円	第41回北空知地区ミニバスケットボール大会	芦別バスケットボールスポーツ少年団	59,000円	U-10砂川フットサル交流大会	芦別サッカー少年団	10,000円	U-12卒業記念フットサル大会	芦別サッカー少年団	10,000円	第22回滝川ライオンズクラブ杯ミニバスケットボール大会	芦別バスケットボールスポーツ少年団	32,000円	合計	3団体 14大会	296,000円
区分	交付先	金額																																																									
芦別市体育協会事業	芦別市体育協会	275,350円																																																									
区分	交付先	金額																																																									
第40回高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会	芦別ジュニアスターズスポーツ少年団	11,000円																																																									
オール空知交流野球大会	芦別ジュニアスターズスポーツ少年団	10,000円																																																									
FIGHTERS BASEBALL CHAMPIONSHIP U-12 中空知支部大会	芦別ジュニアスターズスポーツ少年団	16,000円																																																									
秋季少年支部大会	芦別ジュニアスターズスポーツ少年団	25,000円																																																									
第27回アジアスポーツ中西真一杯U-10少年サッカー大会	芦別サッカー少年団	9,000円																																																									
第17回倉本道新杯U-12少年サッカー大会	芦別サッカー少年団	11,000円																																																									
会長杯争奪中北空知少年野球選手権大会	芦別ジュニアスターズスポーツ少年団	11,000円																																																									
第4回FCSUNAGAWACUP U12少年サッカー大会	芦別サッカー少年団	10,000円																																																									
2020年度北空知地区U12交流戦	芦別バスケットボールスポーツ少年団	20,000円																																																									
2020年度北空知地区U12交流リーグ	芦別バスケットボールスポーツ少年団	62,000円																																																									
第41回北空知地区ミニバスケットボール大会	芦別バスケットボールスポーツ少年団	59,000円																																																									
U-10砂川フットサル交流大会	芦別サッカー少年団	10,000円																																																									
U-12卒業記念フットサル大会	芦別サッカー少年団	10,000円																																																									
第22回滝川ライオンズクラブ杯ミニバスケットボール大会	芦別バスケットボールスポーツ少年団	32,000円																																																									
合計	3団体 14大会	296,000円																																																									

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市補助金等交付条例		
1. 必要性 (市が実施しなければならぬ理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	スポーツ活動を充実させるためには、他チームとの試合や交流会などは重要であり、その活動に対する助成は必要である。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定	
今後もスポーツの振興及び市民の健康増進を図っていくため、各スポーツ団体への助成を実施していく。		継 続	

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	5 体育振興費
事務事業名	各種スポーツ大会等招致				
決算額(円)	財源内訳(円)				
4,500	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					4,500
事業目的	各種スポーツ大会等を招致し、スポーツの魅力やすばらしさを学ぶ機会を提供することにより、さらなるスポーツ意識の高揚を図る。				
事業内容及び成果	<p>1 2020日本プロ野球OBクラブベースボールサマーキャンプ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</p> <p>2 I SH I Y A 白い恋人杯第28回日刊スポーツ芦別少年フットサルフェスティバル 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</p>				

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令			
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	各種スポーツ大会等を招致することは、市内関係者のスポーツ精神や技術の向上につながるほか、交流人口が増加することで市内経済の発展に寄与するものである。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止により事業が中止となった。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>	総合判定		
OBを含めたプロ野球やVリーグ等、トップアスリートの試合観戦や指導を受ける環境を作ることにより、スポーツの魅力や技術の向上が図られるほか、交流人口の増加による経済効果が期待されることから、今後も既存事業の継続と新規事業の招致に取り組んでいく。	継続		

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	6 施設管理費																																				
事務事業名	学校体育施設開放事業																																								
決算額(円)	財源内訳(円)																																								
524,400	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																																				
					524,400																																				
事業目的	市民のスポーツの活動の場として、小中学校の体育施設を開放することを目的とする。																																								
事業内容及び成果	<p>開放実施校において利用団体と期間・時間帯等の調整を行い、令和元年度からラグビーを利用種目に追加したほか、広報等を通じて市民周知を図るなど、利用の拡大に努めた。</p> <p>(1) 体育館利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>開放日数</th> <th>利用人員</th> <th>開放期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芦別小学校</td> <td>97日</td> <td>2,075人</td> <td>6月1日(月)～2月26日(金)</td> </tr> <tr> <td>上芦別小学校</td> <td>100日</td> <td>1,157人</td> <td>6月1日(月)～2月26日(金)</td> </tr> <tr> <td>芦別中学校</td> <td>50日</td> <td>1,492人</td> <td>10月12日(月)～2月26日(金)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>247日</td> <td>4,724人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止による学校開放を中止した日数28日(芦別小学校14日・上芦別小学校14日)</p> <p>(2) グラウンド利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>開放日数</th> <th>利用人員</th> <th>開放期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芦別小学校</td> <td>44日</td> <td>2,270人</td> <td>6月1日(月)～10月11日(日)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止による学校開放を中止した日数15日</p> <p>(3) プール利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>開放日数</th> <th>利用人員</th> <th>開放期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上芦別小学校</td> <td colspan="3">新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</td> </tr> </tbody> </table>					学校名	開放日数	利用人員	開放期間	芦別小学校	97日	2,075人	6月1日(月)～2月26日(金)	上芦別小学校	100日	1,157人	6月1日(月)～2月26日(金)	芦別中学校	50日	1,492人	10月12日(月)～2月26日(金)	合計	247日	4,724人		学校名	開放日数	利用人員	開放期間	芦別小学校	44日	2,270人	6月1日(月)～10月11日(日)	学校名	開放日数	利用人員	開放期間	上芦別小学校	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
学校名	開放日数	利用人員	開放期間																																						
芦別小学校	97日	2,075人	6月1日(月)～2月26日(金)																																						
上芦別小学校	100日	1,157人	6月1日(月)～2月26日(金)																																						
芦別中学校	50日	1,492人	10月12日(月)～2月26日(金)																																						
合計	247日	4,724人																																							
学校名	開放日数	利用人員	開放期間																																						
芦別小学校	44日	2,270人	6月1日(月)～10月11日(日)																																						
学校名	開放日数	利用人員	開放期間																																						
上芦別小学校	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止																																								

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市立学校の体育施設の開放に関する規則	
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	施設の有効活用と利用者の活動機会が増えることで、スポーツの振興が図られるため必要である。
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
4. 行財政改革（改善・改革等）の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
<今後の方向性>		総合判定
今後も市民のスポーツ振興・健康維持のため、学校体育施設を有効に活用していく。		継 続

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	6 施設管理費					
事務事業名	各種社会体育施設管理運営業務									
決算額(円)	財源内訳(円)									
19,515,929	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源					
				776,920	18,739,009					
事業目的	市民の心身の健全な発達及び体育の普及振興を図るため、スポーツを行う場を提供し、体力・健康を増進することを目的とする。									
事業内容及び成果	各種社会体育施設の現状・利用状況等を把握し、市民がより快適に利用できるような適切な管理運営を行った。									
	(1) 各種社会体育施設利用者数									
	施設名	利用期間	利用者	対前年比	使用料					
	勤労者体育センター	通年	7,286人	△2,532人	504,974円					
	本町テニスコート	5月～10月	321人	△462人						
	上芦別球場	5月～10月	420人	△401人	12,870円					
	合計		8,027人	△3,395人	517,844円					
	※新型コロナウイルス感染症拡大防止による閉館日数：勤労者体育センター43日、本町テニスコート31日、上芦別球場31日									
	(2) 芦別市B&G海洋センター利用状況									
	延 利 用 人 員						開 設	一日平均	使用料金	
	幼児	小学生	中学生	高校生	一般	見学者	合計	日数		利用者数
	128人	505人	30人	44人	859人	78人	1,644人	96日間	17.1人	166,630円
	※新型コロナウイルス感染症拡大防止による閉館日数7日									

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市社会体育施設条例、芦別市社会教育推進計画	
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	市民の体力の向上や健康維持・増進のため、社会体育施設は必要である。
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止により一部事業が中止となった。
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	行政改革推進委員会から、勤労者体育センターのNPO法人等への委託化を検討すべきとの提言を受けている。
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
上記の提言を受けているものの、受け皿となる団体が確保できないなどの理由から、当面は直営で管理運営を行っていく。		
<今後の方向性>	総合判定	
市民が体力・健康増進のため利用しやすい環境を維持するため、今後も適正に施設の管理を行っていく。また、大会や合宿誘致を推進するため、市内の体育施設を最大限に活用していく。	継 続	

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	7 総合運動公園体育施設管理費	
事務事業名	総合運動公園維持管理業務					
決算額(円)	財源内訳(円)					
75,173,993	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源	
				4,139,444	71,034,549	
事業目的	市民の心身の健全な発達及び体育の普及振興を図るため、スポーツを行う場を提供し、地域のスポーツ振興と交流人口の拡大に資する。					
事業内容及び成果	各体育施設の管理業務については、専門的な知識を有している業者へ委託することで良好な状態を保つことができ、一般利用のほか、大会・合宿の受け入れも円滑に行った。					
	(1) なまこ山総合運動公園利用者数					
	施設名	利用者数	うち共用利用	うち専用利用	対前年比	令和元年度
	総合体育館	21,791人	9,588人	12,203人	△23,966人	45,757人
	陸上競技場	2,265人	552人	1,713人	△3,209人	5,474人
	市民球場	2,145人		2,145人	△4,014人	6,159人
	球技場・ソフトボール場	3,490人		3,490人	△5,526人	9,016人
	パークゴルフ場	6,449人	6,211人	238人	△4,625人	11,074人
	歩くスキーコース	100人	100人		0人	100人
	合計	36,240人	16,451人	19,789人	△41,340人	77,580人
	※新型コロナウイルス感染症拡大防止による閉館日数：総合体育館43日、陸上競技場・市民球場・球技場・ソフトボール場・パークゴルフ場31日					
	(2) 各種施設における主な大会					
	施設名	主な大会			利用人数	
	総合体育館	第75回国民体育大会弓道競技全道選考会への選考射会兼夏季中部地区高校選手権大会(7月4日(土))			120人	
		第48回空知地区高等学校弓道選抜大会兼第42回北海道高等学校弓道選抜大会北海道大会空知支部予選会(9月12日(土))			140人	
		第2回なの花カップ全道ラグビー大会2020(10月24日(土))			120人	
		第35回北海道中学校バスケットボール新人会北大会(3月25日(木)～3月28日(日))			1,290人	
	球技場	2020北空知U-11サッカー大会(8月22日(土)～8月23日(日))			260人	
		JFA第44回全日本U-12サッカー選手権大会北海道大会(10月10日(土)～10月11日(日))			250人	
	市民球場	北海道ベースボールリーグ公式戦(6月17日(水)～6月18日(木)・6月25日(木)～6月26日(金)・7月1日(水)・7月17日(金)・8月13日(木))			300人	
		ボーイズリーグ第13回支部長杯北海道大会(7月26日(日))			120人	
	陸上競技場	2020年度北海道サッカーリーグ第2回道典・道北ブロックリーグ(8月23日(日))			70人	
		2020年度全道少年(U-12)8人制サッカー大会兼第18回JA全農杯全国小学生選抜サッカーIN北海道北空知地区予選(9月12日(土)～9月13日(日))			520人	
	パークゴルフ場	第8回たれのソラチ杯パークゴルフ大会(8月11日(火))			82人	
		ラルズ杯男女ペアマッチパークゴルフ大会(9月20日(日))			96人	
		第9回星の降る里あしべつ杯パークゴルフ大会(10月5日(月))			60人	
	(3) 施設整備事業					
	公用自動車購入 軽自動車1台 1,343,870円					

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市なまこ山総合運動公園体育施設条例		
1. 必要性 (市が実施しなければならぬ理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	市民の体力の向上や健康維持・増進のため各施設は必要であり、総合運動公園を核としてスポーツ大会及び合宿の誘致が推進できる。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止により一部事業が中止となった。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	行政改革推進委員会から、総合運動公園のNPO法人等への委託化を検討すべきとの提言を受けている。	
4. 行財政改革（改善・改革等）の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	電気料の特約割引等による削減効果額 354 千円/年
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	上記の提言を受けているものの、受け皿となる団体が確保できないなどの理由から、当面は直営で管理運営を行っていく。
<今後の方向性>		総合判定	
今後も市民のスポーツ活動の充実と大会や合宿誘致による市外からの交流人口の増加を図り、施設の有効活用を図っていく。		継 続	

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	8 市民会館・青年センター費
事務事業名	市民会館・青年センター管理運営業務				
決算額(円)	財源内訳(円)				
40,328,474	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
				6,653,401	33,675,073
事業目的	生涯学習の拠点施設として、管理運営を適切に行い、市民への学習機会の場を提供することを目的とする。				
事業内容及び成果	老朽箇所等の修繕をしながら、市民会館及び青年センターの管理運営を行った。				
	(1) 市民会館利用状況				
	区分	件数	利用人員	月平均	使用料
	大ホール	31件	698人	58人	247,944円
	中ホール	168件	2,870人	239人	147,444円
	その他	24件	105人	9人	265,746円
	合計	223件	3,673人	306人	661,134円
	(2) 青年センター利用状況				
	区分	件数	利用人員	月平均	使用料
	体育館	個人	2,332人	194人	57,773円
		団体	401人	33人	
	研修室・和室	325件	3,488人	291人	612,723円
	合計	337件	6,221人	518人	670,496円
	※市民会館・青年センターにおける新型コロナウイルス感染症拡大防止による閉館日数42日間				
	(3) 施設改修関係				
	施設名	主な改修内容			
	市民会館・ 青年センター	① 市民会館中ホールサッシ取替工事			
		② 市民会館大ホール舞台吊物装置滑車交換修繕			
		③ 青年センター体育館ウレタンワックス塗布修繕			
		④ 市民会館・青年センター玄関スロープゴムチップ取付修繕			
		⑤ 青年センター真空暖房ポンプメカニカルシール交換修繕			
		⑥ 市民会館喫茶室窓ガラス養生工事			
		⑦ 青年センターNo.2ボイラー低水位遮断器取替修繕			
		⑧ 市民会館屋外外灯更新			
		⑨ 青年センター喫茶室前ゴムチップ取替修繕			

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令		芦別市民会館・芦別市青年センター条例	
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	本市の生涯学習活動の拠点施設として、市民会館・青年センターの管理運営が必要である。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止により一部事業が中止となった。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	行政改革推進委員会から、青年センター等の施設の管理運営などは、NPO法人等に委託することについて可能と思われるので検討願いたいとの提言や、生涯学習の拠点施設も維持・充実させ、市民も参画することによって、幅広い年齢の方がさらに利用しやすくなるような場を提供していくべきであるとの提言がなされている。	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	電気料の特約割引等による削減効果額 830 千円/年
	他の事業との統合や民間委託など	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	上記の提言を踏まえ、指定管理者制度の導入の検討を進めていく。
<今後の方向性>			総合判定
社会教育・生涯学習の拠点施設として利用しやすい環境を維持・整備し、今後も適正に施設の管理を行っていく。なお、上記の要望に関しては、令和4年度以降も一定の見直しを進めていく。			継 続

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	8 市民会館・青年センター費
事務事業名	社会教育施設有効活用業務				
決算額(円)	財源内訳(円)				
0	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
事業目的	社会教育施設を有効的に活用し、市民の生涯学習活動に対する効果的な支援をする。				
事業内容及び成果	<p>社会教育施設として、市民の生涯学習活動を支援するため、イベントの開催や展示を行うなど、施設の有効活用に努めた。</p> <p>(令和2年度実績内容～青年センターロビーに市内各種サークル情報、市内外のイベント情報、各種資格取得に関する学習情報のパンフレット等を展示)</p>				

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令			
1. 必要性 (市が実施しなければならぬ理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	社会教育施設として、市民の生涯学習活動を支援するため、学習や文化・スポーツ活動の場の提供など、市が施設の有効活用に努める必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	市民の生涯学習活動を支援するため、イベントの開催や展示等を行うことにより、生涯学習活動の意欲を高めるとともに、来場者等と享受することができ、市民の福祉の向上が図られている。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	行政改革推進委員会から、子どもから大人まで住み続けたいと思えるようなまちにしていけるためには、生涯学習の拠点施設を維持・充実させ、市民も参画することによって、幅広い年齢の方がさらに利用したくなるような、より魅力ある場を提供していくべきであるとの提言がなされている。	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>			総合判定
今後も社会教育施設・生涯学習の拠点施設として利用しやすい環境を維持・整備しながら、上記の提言も踏まえ、より魅力ある場の提供など、さらなる有効活用に努めていく。			継続

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	9 図書館費																														
事務事業名	図書館管理運営業務																																		
決算額(円)	財源内訳(円)																																		
11,512,602	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																														
				456,226	11,056,376																														
事業目的	図書館施設の維持管理及び施設周辺の環境整備を適切に行い、市民の教養と文化の発展に寄与することを目的とする。																																		
事業内容及び成果	<p>適切な維持管理の実施、計画的な設備機器の更新、適切な図書館運営の実施</p> <p>(1) 利用状況</p> <p>① 図書館年間入館者数 17,446人(1日平均 68人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年間利用者数</th> <th>貸出冊数</th> <th>AV利用者数</th> <th>開館日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>2,310人</td> <td>4,754冊</td> <td>116人</td> <td rowspan="3">256日</td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td>15,136人</td> <td>55,474冊</td> <td>418人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17,446人</td> <td>60,228冊</td> <td>534人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、33日間臨時休館</p> <p>② 移動図書館車年間利用数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>貸出冊数</th> <th>巡回数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>321冊</td> <td rowspan="3">230回</td> <td rowspan="3">ステーション数 12箇所</td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td>2,972冊</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,293冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 施設の整備状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館地上タンク設置工事(3,190,000円) 					区分	年間利用者数	貸出冊数	AV利用者数	開館日数	児童	2,310人	4,754冊	116人	256日	一般	15,136人	55,474冊	418人	計	17,446人	60,228冊	534人	区分	貸出冊数	巡回数	備考	児童	321冊	230回	ステーション数 12箇所	一般	2,972冊	計	3,293冊
区分	年間利用者数	貸出冊数	AV利用者数	開館日数																															
児童	2,310人	4,754冊	116人	256日																															
一般	15,136人	55,474冊	418人																																
計	17,446人	60,228冊	534人																																
区分	貸出冊数	巡回数	備考																																
児童	321冊	230回	ステーション数 12箇所																																
一般	2,972冊																																		
計	3,293冊																																		

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令		芦別市立図書館条例、芦別市立図書館条例施行規則、図書館法	
1. 必要性 (市が実施しなければならぬ理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	施設の維持管理及び周辺環境整備を行い、市民の教養と文化の発展に寄与するため、良好な読書環境を提供していく必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止により一部事業が中止となった。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	行政改革推進委員会から、建築後40年以上経過している図書館の老朽化に伴い、施設のあり方について提言を受けている。	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	電気料の特約割引等による削減効果額 60 千円/年
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	行財政改革の取組により、図書館の指定管理者委託を進めているが、先進地視察の結果や図書館協議会委員との意見交換を踏まえ、運営面や費用面において、指定管理者委託化の効果が低いことから、当面は直営で運営する。
<今後の方向性>			総合判定
今後も施設の適正な管理運営に努めながら、安全・安心な読書環境を整備していく。なお、上記の提言を踏まえ、当面は単独施設として延命化を図っていくが、将来に向けて施設のあり方を検討していく。			継 続

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	9 図書館費																																																																							
事務事業名	読書普及活動																																																																											
決算額(円)	財源内訳(円)																																																																											
3,979,563	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																																																																							
					3,979,563																																																																							
事業目的	各種事業を展開し、読書の普及に努める。																																																																											
事業内容及び成果	<p>小・中学校との連携を深め、利用者の増加に努めた。</p> <p>(1) 備品整備 図書及び視聴覚資料・庁用器具等の購入</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>数量</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般及び児童図書</td> <td>1,570冊</td> <td>2,767,102円</td> </tr> <tr> <td>DVD</td> <td>14巻</td> <td>243,452円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>3,010,554円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 図書館行事実施状況</p> <p>① 図書館行事</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施区分</th> <th>事業名</th> <th>実施日等</th> <th>開催時間</th> <th>参加者数等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">毎月</td> <td>絵本読み聞かせ会</td> <td>毎月2回 土曜日</td> <td>14:00～15:00</td> <td>18回 23人</td> </tr> <tr> <td>えほんおはなし会</td> <td>毎月2回 金曜日</td> <td>11:00～11:30</td> <td>17回 44人</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">年1回</td> <td>ぬいぐるみの図書館おとまり会</td> <td>10月3日(土) ～ 10月3日(土)</td> <td>14:00～15:30</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>図書館一日司書体験</td> <td>7月11日(土)</td> <td>13:00～16:00</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>夜のとしよかんたんけん隊</td> <td>8月29日(土) ～ 8月30日(日)</td> <td>19:00～翌日9:00</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td colspan="4">図書館まつり</td> </tr> <tr> <td>お宝本発掘市</td> <td>11月7日(土) 11月8日(日)</td> <td>14:00～翌日17:00</td> <td>111人</td> </tr> <tr> <td>大人向け図書館見学</td> <td>11月8日(日)</td> <td>14:00～16:00</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>クリスマス会</td> <td>12月20日(日)</td> <td>14:00～15:00</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>年5回</td> <td>ブックスタート事業</td> <td>BCG接種時</td> <td>13:00～</td> <td>45人</td> </tr> </tbody> </table> <p>② ボランティアによる行事</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施区分</th> <th>事業名</th> <th>実施日等</th> <th>開催時間</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年1回</td> <td>古本市</td> <td>9月27日(日)</td> <td>14:00～15:30</td> <td>63人</td> </tr> </tbody> </table>					区分	数量	金額	一般及び児童図書	1,570冊	2,767,102円	DVD	14巻	243,452円	合計		3,010,554円	実施区分	事業名	実施日等	開催時間	参加者数等	毎月	絵本読み聞かせ会	毎月2回 土曜日	14:00～15:00	18回 23人	えほんおはなし会	毎月2回 金曜日	11:00～11:30	17回 44人	年1回	ぬいぐるみの図書館おとまり会	10月3日(土) ～ 10月3日(土)	14:00～15:30	20人	図書館一日司書体験	7月11日(土)	13:00～16:00	4人	夜のとしよかんたんけん隊	8月29日(土) ～ 8月30日(日)	19:00～翌日9:00	7人	図書館まつり				お宝本発掘市	11月7日(土) 11月8日(日)	14:00～翌日17:00	111人	大人向け図書館見学	11月8日(日)	14:00～16:00	11人		クリスマス会	12月20日(日)	14:00～15:00	30人	年5回	ブックスタート事業	BCG接種時	13:00～	45人	実施区分	事業名	実施日等	開催時間	参加者数	年1回	古本市	9月27日(日)	14:00～15:30	63人
区分	数量	金額																																																																										
一般及び児童図書	1,570冊	2,767,102円																																																																										
DVD	14巻	243,452円																																																																										
合計		3,010,554円																																																																										
実施区分	事業名	実施日等	開催時間	参加者数等																																																																								
毎月	絵本読み聞かせ会	毎月2回 土曜日	14:00～15:00	18回 23人																																																																								
	えほんおはなし会	毎月2回 金曜日	11:00～11:30	17回 44人																																																																								
年1回	ぬいぐるみの図書館おとまり会	10月3日(土) ～ 10月3日(土)	14:00～15:30	20人																																																																								
	図書館一日司書体験	7月11日(土)	13:00～16:00	4人																																																																								
	夜のとしよかんたんけん隊	8月29日(土) ～ 8月30日(日)	19:00～翌日9:00	7人																																																																								
	図書館まつり																																																																											
	お宝本発掘市	11月7日(土) 11月8日(日)	14:00～翌日17:00	111人																																																																								
	大人向け図書館見学	11月8日(日)	14:00～16:00	11人																																																																								
	クリスマス会	12月20日(日)	14:00～15:00	30人																																																																								
年5回	ブックスタート事業	BCG接種時	13:00～	45人																																																																								
実施区分	事業名	実施日等	開催時間	参加者数																																																																								
年1回	古本市	9月27日(日)	14:00～15:30	63人																																																																								

③ 視聴覚関係行事 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため5月の行事は中止とした。

実施区分	事業名	実施日等	開催時間	参加者数等
毎月	おもひで映画館	毎月2回	14:00～	18回 65人
年1回	「映画の日」特別上映会	11月29日(土)	10:00～	6人
	映像でつづる芦別の歴史(17弾)「滝里ダムの役割と機能」	2月13日(土)	14:00～15:30	17人
年4回	こども映画会 (春・夏・秋・冬)	5・7・9・1月 ※5月中止	14:00～	3回 4人

④ 展示 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため5月の展示は中止とした。

【展示(階段・2階ラウンジ) 535人】

実施月	内容	観覧者
4月	芦別市短歌連盟作品展	31人
5月	いにしへの芦別写真展	休館のため休止
6月	芦別市俳句連盟作品展	23人
7月	古瀬勉・眞田初美作品展	130人
8月	芦別市書道連盟小品展	40人
9月	花実絵と夢ロゴアート	33人
10月	いにしへの芦別写真展	35人
11月	佐賀シゲ子・佐々木千栄文化刺繍展	36人
12月	北海道写真協会芦別支部作品展	32人
1月	芦美会小作品展	55人
2月	絵手紙の会福寿草	48人
3月	日本習字芦別支部作品展	72人

【展示(ガラスケース)】

実施月	内容
4月	スクラッチアート
5月	POOH熊谷の模型作品 ※休館のため休止
6月	ジオラマ「旧手宮駅長官舎」
7月	切り絵作品展
8月	日本の郷土玩具「佐賀県の能古見土人形」
9月	ビーズアクセサリー作品展
10月	タバココレクション
11月	パッチワークサークル作品展
12月	粘土細工作品展
1月	トールペイント作品展
2月	おりがみ作品展
3月	スクラッチアート

【特別展示（一般閲覧室）】

実施月	内 容
5月	ポップアップ絵本展 ※休館のため休止
6月	食育（健康推進課）
10月	絵本作家「石川えりこ」原画展（中空知）
1月	滝里ダムの役割と機能のパネル展
3月	自殺予防（健康推進課）
3月	なかそらネットのおすすめ本（中空知）

⑤ 出前講座・絵本講座

内 容	参加者数等
ビヨビヨ	4回 19組
遊びの広場	1回 14組
だるまサロン	3回 63人
高齢者大学OB会	1回 28人

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市図書館条例、芦別市図書館条例施行規則、図書館法、社会教育法		
1. 必要性 （市が実施しなければならない理由など）	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	社会教育法に基づき、図書館奉仕による市民の希望に沿い、さらに学校教育を援助し、及び家庭教育の向上に資することを目的としながら事業を推進することが必要である。	
2. 成果 （市民福祉の向上は図られているかなど）	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	令和2年度に実施した図書館利用者アンケートの結果を踏まえ、図書の実態にあわせ、図書館行事等を子どもから高齢者まで楽しめる内容に充実させたことで利用者が増加した。	
3. 要望 （市民・団体・議会からの要望など）	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	図書館協議会委員からの図書館事業の継続や高齢者事業の拡大の要望にあわせ、令和2年度に実施した図書館利用者アンケート結果の中で、図書の充実や高齢者の学習、生きがいの支援や居場所の機能強化が重要であるとの回答がある。	
4. 行財政改革（改善・改革等）の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定	
芦別市子ども読書活動推進計画に基づき、次代を担う子どもたちが、豊かな読書体験を通じて健やかに成長できるよう関係機関や学校と連携し各種事業を推進するほか、上記要望等を踏まえ、市民ニーズに対応した幅広い年齢層への読書活動の推進に努める。		継 続	

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	9 図書館費																								
事務事業名	視聴覚ライブラリー運営事務																												
決算額(円)	財源内訳(円)																												
252,452	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																								
					252,452																								
事業目的	図書館活動の一環として、充実した視聴覚資料を提供し、社会教育・学校教育の充実を図る。																												
事業内容及び成果	<p>広報・ホームページ等で情報の提供を図った。</p> <p>(1) 映像資料整備(購入)</p> <table border="1"> <tr> <th>教材名</th> <th>数量等</th> </tr> <tr> <td>DVD</td> <td>14巻</td> </tr> </table> <p>(2) 利用状況</p> <p>① 教材別利用状況</p> <table border="1"> <tr> <th>16ミリフィルム</th> <th>C D</th> <th>DVD</th> <th>ビデオ(VHS)</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>236人</td> <td>96人</td> <td>332人</td> </tr> </table> <p>② 対象別利用状況</p> <table border="1"> <tr> <th>小学校</th> <th>中学校</th> <th>社会教育</th> <th>一般</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>7件</td> <td>325件</td> <td>332件</td> </tr> </table>					教材名	数量等	DVD	14巻	16ミリフィルム	C D	DVD	ビデオ(VHS)	合計	0人	0人	236人	96人	332人	小学校	中学校	社会教育	一般	合計	0件	0件	7件	325件	332件
教材名	数量等																												
DVD	14巻																												
16ミリフィルム	C D	DVD	ビデオ(VHS)	合計																									
0人	0人	236人	96人	332人																									
小学校	中学校	社会教育	一般	合計																									
0件	0件	7件	325件	332件																									

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市図書館条例、芦別市図書館条例施行規則、図書館法、社会教育法		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	図書館活動の一環として、充実した視聴覚資料を提供し、社会教育・学校教育の充実を図ることが必要である。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>			
視聴覚ライブラリーに対する高齢者団体のニーズが高いことから、視聴覚資料を図書館以外の施設で貸出(出前ライブラリー)するなど、事業の充実を図っていく。			総合判定 継続

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	10 星の降る里百年記念館費																																																																			
事務事業名	星の降る里百年記念館管理運営業務																																																																							
決算額(円)	財源内訳(円)																																																																							
11,951,639	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																																																																			
				4,116,020	7,835,619																																																																			
事業目的	教育及び学術文化と地域の活性化に寄与するため、郷土の自然、歴史、文化に係るあらゆる文化財を収集、保管、調査研究し、展示や教育普及活動に活かし、合わせて学習情報提供事業を行う。																																																																							
事業内容及び成果	<p>建物本体及び設備機器の適正な管理を行い、収蔵している文化財の適切な保存を行ったほか、展示物や収蔵品の調査研究に基づき、特別展や教育普及活動を実施した。</p> <p>(1) 入館者の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>有料</th> <th>無料(減免)</th> <th>特別展</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,081人</td> <td>790人</td> <td>6,945人</td> <td>9,816人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止による閉館日数 34日</p> <p>(2) 施設の利用状況(研修室・多目的ホール)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>件数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修会</td> <td>1件</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>会議・協議会等</td> <td>2件</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>講座・講習会等</td> <td>13件</td> <td>77人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>16件</td> <td>101人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 特別展実施事業(展示会の開催)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施期間</th> <th>観覧者数</th> <th>事業実施団体名等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国立アイヌ民族博物館PR展</td> <td>4月1日～4月19日</td> <td>60人</td> <td>文化庁国立アイヌ民族博物館</td> </tr> <tr> <td>写真展</td> <td>6月2日～6月30日</td> <td>565人</td> <td>北海道写真協会芦別支部</td> </tr> <tr> <td>絵手紙展</td> <td>7月3日～7月30日</td> <td>1,101人</td> <td>絵手紙の会「福寿草」</td> </tr> <tr> <td>空撮メディア展ソラカラ</td> <td>8月1日～9月30日</td> <td>3,507人</td> <td>フガクドウメディア工房</td> </tr> <tr> <td>絵画展</td> <td>10月11日～10月31日</td> <td>662人</td> <td>芦美会</td> </tr> <tr> <td>フォトコンテスト応募写真展</td> <td>11月4日～11月22日</td> <td>417人</td> <td>芦別商工会議所</td> </tr> <tr> <td>滝里ダム20周年記念パネル展</td> <td>11月25日～11月29日</td> <td>219人</td> <td>市商工振興課</td> </tr> <tr> <td>文化刺繍サークル作品展</td> <td>12月4日～12月27日</td> <td>109人</td> <td>芦別文化刺繍サークル</td> </tr> <tr> <td>みどり幼稚園児絵画展</td> <td>1月17日～2月7日</td> <td>305人</td> <td>芦別みどり幼稚園</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>6,945人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 施設整備 郷土資料収蔵庫旧校舎屋根修繕 3,465,000円</p>					有料	無料(減免)	特別展	合計	2,081人	790人	6,945人	9,816人	区分	件数	参加人数	研修会	1件	10人	会議・協議会等	2件	14人	講座・講習会等	13件	77人	合計	16件	101人	事業名	実施期間	観覧者数	事業実施団体名等	国立アイヌ民族博物館PR展	4月1日～4月19日	60人	文化庁国立アイヌ民族博物館	写真展	6月2日～6月30日	565人	北海道写真協会芦別支部	絵手紙展	7月3日～7月30日	1,101人	絵手紙の会「福寿草」	空撮メディア展ソラカラ	8月1日～9月30日	3,507人	フガクドウメディア工房	絵画展	10月11日～10月31日	662人	芦美会	フォトコンテスト応募写真展	11月4日～11月22日	417人	芦別商工会議所	滝里ダム20周年記念パネル展	11月25日～11月29日	219人	市商工振興課	文化刺繍サークル作品展	12月4日～12月27日	109人	芦別文化刺繍サークル	みどり幼稚園児絵画展	1月17日～2月7日	305人	芦別みどり幼稚園	合計		6,945人	
有料	無料(減免)	特別展	合計																																																																					
2,081人	790人	6,945人	9,816人																																																																					
区分	件数	参加人数																																																																						
研修会	1件	10人																																																																						
会議・協議会等	2件	14人																																																																						
講座・講習会等	13件	77人																																																																						
合計	16件	101人																																																																						
事業名	実施期間	観覧者数	事業実施団体名等																																																																					
国立アイヌ民族博物館PR展	4月1日～4月19日	60人	文化庁国立アイヌ民族博物館																																																																					
写真展	6月2日～6月30日	565人	北海道写真協会芦別支部																																																																					
絵手紙展	7月3日～7月30日	1,101人	絵手紙の会「福寿草」																																																																					
空撮メディア展ソラカラ	8月1日～9月30日	3,507人	フガクドウメディア工房																																																																					
絵画展	10月11日～10月31日	662人	芦美会																																																																					
フォトコンテスト応募写真展	11月4日～11月22日	417人	芦別商工会議所																																																																					
滝里ダム20周年記念パネル展	11月25日～11月29日	219人	市商工振興課																																																																					
文化刺繍サークル作品展	12月4日～12月27日	109人	芦別文化刺繍サークル																																																																					
みどり幼稚園児絵画展	1月17日～2月7日	305人	芦別みどり幼稚園																																																																					
合計		6,945人																																																																						

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市百年記念館条例・芦別市百年記念館条例施行規則、博物館法		
1. 必要性 (市が実施しなければならぬ理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	郷土資料の収集、保管、展示及び教育的活用を行うため必要である。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	日本遺産認定により炭鉱遺産が再認識され、関連特別展や小中学校での教科学習による見学により観覧者が増加した。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	電気料の特約割引等による削減効果額 276 千円/年
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	指定管理委託を見据えているが、委託先において、専門性のある人材確保が困難であることから、引き続き市が運営していく。
<今後の方向性>		総合判定	
今後も施設の適正な管理運営を行うほか、地域の身近な自然や歴史、文化に関する資料や市史編さんにおける情報の収集、展示活動や教育普及活動の充実に努めていく。		継 続	

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	10 星の降る里百年記念館費
事務事業名	文化財保護事業				
決算額(円)	財源内訳(円)				
205,880	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					205,880
事業目的	文化財の保護及び教育的活用の促進を図る。				
事業内容及び成果	適切な保護、保存を図るための環境を整備し、文化財の保護及び教育的活用を行った。				

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市文化財保護条例、芦別市文化財保護審議会規則、北海道文化財保護条例、文化財保護法				
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	文化財の保護及び教育的活用の促進を図るため必要である。			
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—			
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—			
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
<今後の方向性>					総合判定
日本遺産に認定された炭鉱遺産資源をはじめとする貴重な文化財を後世に伝えるため、教育普及を図るとともに、これらの文化財の適切な保存と活用に取り組み、市民文化の向上に努めていく。					継続

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	11 合宿振興費
事務事業名	合宿振興事業（繰越明許分含む）				
決算額（円）	財 源 内 訳 （円）				
	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
318,115,315	155,571,812		154,500,000	1,014,671	7,028,832
事業目的	スポーツ・文化合宿の誘致・受入れを行い、スポーツ及び文化の振興並びに地域の活性化を図る。				
事業内容及び成果	<p>全日本、実業団クラスの受入れのほか、大学・高校等の合宿が快適に実施できるよう施設の適切な管理運営を行った。また、合宿受入れに係る収容人数が課題であった宿泊交流センターの2号館（定員80名）が令和3年2月に完成し、1号館の定員93名とあわせて合計173名となり、受入環境が充実した。</p> <p>(1) 合宿事業（あしべつ宿泊交流センター・スターライトホテル等）</p> <p>① 滝川高等学校弓道部（年2回実施）（3泊4日 延参加人数 144人）</p> <p>② 留萌高等学校弓道部（年2回実施）（3泊4日 延参加人数 67人）</p> <p>③ 東神楽中学校陸上部（1泊2日 延参加人数 58人）</p> <p>④ その他5団体</p> <p>合計 8団体 延参加人数 651人（対前年比 △8,838人） 競技種目 6種目</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止となった主な団体または事業</p> <p>① 実業団バレーボールJTマーヴェラス</p> <p>② 北海道バレーボール協会事業（年3回実施）</p> <p>③ 日本プロ野球OBクラブベースボールサマーキャンプ</p> <p>④ 北海道大学バドミントン部</p> <p>⑤ 北海学園大学体育会弓道部</p> <p>⑥ 北海道大学武田流中村派合気道部</p> <p>(2) 研修・教育活動事業（あしべつ宿泊交流センター）</p> <p>① スマート林業EZOモデル構築協議会（年3回実施）（3泊4日 延参加人数 94人）</p> <p>② 芦別木材協会（年3回実施）（7泊8日 延参加人数 51人）</p> <p>合計 2団体 延参加人数 145人（対前年比 △2,795人）</p> <p>※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止となった主な団体または事業</p> <p>① 星槎国際高等学校スクーリング事業</p> <p>② 旭川中央中学校吹奏楽部</p> <p>(3) 宿泊交流センター（2号館）整備事業 313,026,924円</p> <p>① 建築工事 179,377,000円（除却工事費含む）</p> <p>② 機械設備工事 76,340,000円</p> <p>③ 電気設備工事 28,237,000円</p> <p>④ 外構整備工事 20,526,000円</p> <p>⑤ 工事監理業務委託 2,783,000円</p> <p>⑥ 備品整備（テーブル、椅子、電化製品等） 5,763,924円</p>				

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令		芦別市社会教育推進計画	
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	交流人口の増加により、市内経済の活性化を図る必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	宿泊交流センター2号館の完成により受入環境が充実した。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	行政改革推進委員会から、市内の経済効果が発揮されるよう地元農産物の食材や特産品を用いた食事の提供など、経済波及効果が少しでも多くなるような取組を検討すべきとの提言を受けている。	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>			総合判定
リピート団体には継続的な合宿実施に向けた誘致活動を行うほか、今後は新設したあしべつ宿泊交流センター2号館を活用し、大型合宿の受入や新規団体の誘致も行っていく。なお、上記の提言を踏まえ、宿泊交流センター食事提供事業者にできる限り地元食材・特産品を用いるよう促していくとともに、大規模合宿等においては、観光PR用DVDの活用等により、地域経済波及効果をより誘発するよう努めていく。			継 続

款	10 教育費	項	5 保健体育費	目	1 保健体育総務費														
事務事業名	学校保健及び各種検診事業																		
決算額(円)	財源内訳(円)																		
4,216,688	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源														
				225,860	3,990,828														
事業目的	学校における保健管理及び安全管理を行うことにより、児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施に資することを目的とする。																		
事業内容及び成果	<p>児童生徒及び教職員に対し、学校保健安全法に規定する各健診を実施した。また、日本スポーツ振興センターや全国市長会学校災害賠償保険等に加入することにより、学校内での事故、災害時に備えた。</p> <p>(1) 児童生徒健康診断(内科健診ほか)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数 (内科健診の人数)</th> <th>委託先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>352人</td> <td rowspan="2">① 一般社団法人芦別市医師会 ② 芦別歯科医会 ③ 芦別市薬剤師会</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>189人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 教職員健康診断(総合健診)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> <th>委託先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小中学校</td> <td>57人</td> <td>市立芦別病院</td> </tr> </tbody> </table>					区分	人数 (内科健診の人数)	委託先	小学校	352人	① 一般社団法人芦別市医師会 ② 芦別歯科医会 ③ 芦別市薬剤師会	中学校	189人	区分	人数	委託先	小中学校	57人	市立芦別病院
区分	人数 (内科健診の人数)	委託先																	
小学校	352人	① 一般社団法人芦別市医師会 ② 芦別歯科医会 ③ 芦別市薬剤師会																	
中学校	189人																		
区分	人数	委託先																	
小中学校	57人	市立芦別病院																	

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	学校保健安全法		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	学校における保健管理及び安全管理を行い、児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図り、学校教育を円滑に実施する必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>	総合判定		
児童生徒、教職員の健康の保持を図るために適切に健康診断を実施するほか、教育活動が安全に実施されるよう、適切に対応していく。	継続		

款	10 教育費	項	5 保健体育費	目	1 保健体育総務費								
事務事業名	体育振興事業												
決算額(円)	財源内訳(円)												
1,764,295	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源								
		568,700			1,195,595								
事業目的	児童生徒の冬期間における体力増進を図る。												
事業内容及び成果	<p>小学校におけるスキー授業に伴い、外部指導者（講師）への謝礼及びスキー場への輸送に係る費用等を負担した。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、北海道の教育旅行支援事業支援金を活用し、輸送に係るバスを増便して対応した。</p> <table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>参加校</td> <td>スキー場利用回数</td> <td>外部指導者(延べ人数)</td> </tr> <tr> <td>スキー授業の状況</td> <td>2校</td> <td>8回</td> <td>34人</td> </tr> </table> <p>※ スキー授業の実施場所は、富良野スキー場</p>					区分	参加校	スキー場利用回数	外部指導者(延べ人数)	スキー授業の状況	2校	8回	34人
区分	参加校	スキー場利用回数	外部指導者(延べ人数)										
スキー授業の状況	2校	8回	34人										

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令			
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	児童生徒が健康で安全な学校生活を送り、心身の調和的発達を図るためには、自然環境や地域特性に合わせた学校での体育事業の実施が必要である。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>	総合判定		
冬期間における児童生徒の健康増進と体力の向上を図るため、北海道の冬期間における特有の自然環境を生かし、学習指導要領と学校の教育課程に基づき引き続きスキー授業を実施する。また、学校支援ボランティア等を活用し、指導者の確保を図り、専門的な技術・知識に基づく指導を行う。	継続		

款	10 教育費	項	5 保健体育費	目	2 学校プール管理費												
事務事業名	学校プール管理運営業務																
決算額(円)	財源内訳(円)																
5,007,082	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源												
					5,007,082												
事業目的	児童の健全な育成のため、学校プールの安全で適切な管理運営を行う。																
事業内容及び成果	<p>1 学校プールの安全確保に配慮した管理運営を行った。</p> <p>2 開放期間 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、若葉プール、上小プールともに令和2年度は開放をしなかった。</p> <p>3 備品購入関係</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>備品名</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上芦別小学校</td> <td>上屋シート</td> <td>4,730,000円</td> </tr> <tr> <td>上芦別小学校</td> <td>水道メーター(電子式)1台</td> <td>140,800円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>4,870,800円</td> </tr> </tbody> </table>					学校名	備品名	金額	上芦別小学校	上屋シート	4,730,000円	上芦別小学校	水道メーター(電子式)1台	140,800円	合計		4,870,800円
学校名	備品名	金額															
上芦別小学校	上屋シート	4,730,000円															
上芦別小学校	水道メーター(電子式)1台	140,800円															
合計		4,870,800円															

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令			
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い		児童の健全な育成のため、学校プールの安全で適切な管理運営を行う必要がある。
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した		※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止により事業が中止となった。
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		—
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>			総合判定
今後も適切な学校プールの維持管理に努めていく。なお、老朽化が進んできていることから、学校プールのあり方について検討を進めていく。			継続

款	10 教育費	項	5 保健体育費	目	3 学校給食費
---	--------	---	---------	---	---------

事務事業名	学校給食事業				
-------	--------	--	--	--	--

決算額(円)	財源内訳(円)				
63,415,723	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
			7,800,000	33,686,293	21,929,430

事業目的
「学校給食法」に基づき、安全で栄養バランスのとれた食事を提供することにより、児童・生徒の心身の健全な育成に資するとともに、学校給食を通して児童生徒に日常生活における望ましい食習慣を育成する
また、学校給食センター施設の適正管理により、安心、安全な給食を提供する。

事業内容及び成果
衛生管理責任者である栄養教諭を中心に、学校給食衛生管理基準に基づく食中毒防止等の管理体制を充実させるとともに、経年により施設・設備等に不具合箇所が発生してきていることから計画的な維持補修を行い、児童・生徒に安心、安全な学校給食を提供した。
また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る市立小中学校の臨時休業による学校給食の休止に伴い、発注取消の影響を受けた市内の学校給食食材納入事業者に対して支援金を支給した。

(1) 実施状況

給食対象校	給食数	給食の供給日数	1日平均(給食数)
小学校 2校	77,205食	202日	606食
中学校 2校	45,229食		
合計 4校	122,434食		

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止による給食休止日数16日(4/20～5/15)

区分	決算額	給食費内訳
給食費徴収金で賄う経費	賄材料費	33,866,707円
	食品加工委託料	816,777円
	計	34,683,484円
運営費	一般管理費	21,180,049円
	燃料費及び光熱水費	7,552,190円
	計	28,732,239円
合計	63,415,723円	小学校給食費分(③=①-②) 79,765食×255円= 20,340,075円① アレルギーによる牛乳停止分(2名) A 190食×@48.1円=9,139円 B 190食×@48.1円=9,139円 A+B=18,278円② (①-②)=20,321,797円③ 中学校給食費分 45,236食×306円= 13,842,216円④ 合計(③+④) 34,164,013円

※ 給食費内訳の食数は、試食等を含むため、給食対象校の給食数とは一致しない。

(2) 給食業務外部委託状況

- ① 調理業務（主食の米飯とパン）
- ② 配送業務

(3) 地場産品使用状況

品名	年間使用量	品名	年間使用量
① 米（ななつぼし）	5,755kg	⑥ だいこん	316kg
② 鶏卵	589kg	⑦ ピーマン	33kg
③ じゃがいも	1,158kg	⑧ きゅうり	131kg
④ キャベツ	538kg	⑨ はくさい	62kg
⑤ 長ねぎ	60kg	⑩ ほうれん草	5kg

(4) 蒸気ボイラー更新（1基） 7,832,000円 ((1)実施状況 運営費 一般管理費の額に含む)

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	学校給食法	
1. 必要性 (市が実施しなければならぬ理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	学校給食法に基づき、安心・安全で栄養バランスが取れた食事を提供することにより、児童生徒の心身の健全な育成に資するとともに、学校給食を通して児童生徒に日常生活における望ましい食習慣を育成する必要がある。
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	芦別市学校給食センター運営委員会委員より、学校給食における地場産品の利用拡大について要望を受けている。
4. 行財政改革（改善・改革等）の取組	事務事業の休止・廃止など <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	電気料の特約割引等による削減効果額 147 千円/年
	他の事業との統合や民間委託など <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定
施設と調理器具等の老朽化が進んできているが、今後、計画的に更新等を行いながら、当面は現体制を維持しつつ、安心、安全な学校給食の提供に努めていく。なお、上記の要望を踏まえ、地場産品の利用拡大について検討するほか、本市にふさわしい学校給食事業の運営形態の研究を進める。		継 続

款	10 教育費	項	6 財産造成費	目	1 財産造成費												
事務事業名	学校林管理運営事務																
決算額(円)	財源内訳(円)																
1,408,000	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源												
				1,408,000													
事業目的	市内学校の営繕及び設備に要する資金を造成し、あわせて児童及び生徒の林業教育の振興に資することを目的とする。																
事業内容及び成果	<p>学校基金を構成する学校林のうち、昭和39年9月から国との分収造林契約を締結していた芦別小学校学校林について、令和元年8月末をもって契約期間が満了し、国との協議にて伐採することで合意に達し、令和2年11月に立木の売買契約を締結、同年12月に売買契約に基づく分収金が払い込まれ、分収造林契約を終了するとともに、分収金については、芦別市学校基金条例の規定に基づき、芦別市学校基金へ編入した。</p> <p>1 分収造林契約内容</p> <p>(1)所在地 芦別市黄金町 空知森林管理署3087林班 は小班</p> <p>(2)契約年月日 昭和39年9月21日</p> <p>(3)契約面積 4.9070ha</p> <p>(4)分収割合 国2割 市8割</p> <p>2 売買契約内容</p> <p>(1)売買物件の種類及び数量 欧州アカマツ外15種 3,219本 材積946.03m³</p> <p>(2)売買契約締結日 令和2年11月26日</p> <p>(3)売買代金 1,760,000円</p> <p>(4)売買代金の分収金 国 352,000円 市 1,408,000円</p> <p>3 学校基金に属する学校林の現況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校林の名称</th> <th>所在地</th> <th>面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上芦別小学校学校林</td> <td>芦別市滝里町空知森林管理署3362林班に小班</td> <td>1.1845ha</td> </tr> <tr> <td>芦別小学校学校林</td> <td>芦別市黄金町592番地の2、594番地</td> <td>0.4315ha</td> </tr> <tr> <td>芦別小学校学校林</td> <td>芦別市常磐町609番地の2</td> <td>0.6669ha</td> </tr> </tbody> </table>					学校林の名称	所在地	面積	上芦別小学校学校林	芦別市滝里町空知森林管理署3362林班に小班	1.1845ha	芦別小学校学校林	芦別市黄金町592番地の2、594番地	0.4315ha	芦別小学校学校林	芦別市常磐町609番地の2	0.6669ha
学校林の名称	所在地	面積															
上芦別小学校学校林	芦別市滝里町空知森林管理署3362林班に小班	1.1845ha															
芦別小学校学校林	芦別市黄金町592番地の2、594番地	0.4315ha															
芦別小学校学校林	芦別市常磐町609番地の2	0.6669ha															

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市学校基金条例		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	市内学校の営繕及び設備に要する資金を造成し、児童及び生徒の林業教育の振興を図っている。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した		—
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		—
4. 行財政改革（改善・改革等）の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>			総合判定
学校林管理期間の長期化等により、資金造成の効果が低くなっていることから、今後、他の活用方法を検討など廃止を含めた制度の見直しを行っていく。			継 続